



No. 10-1  
近畿地方整備局  
事業評価監視委員会  
平成26年度第3回

一般国道26号  
わかやまみさき  
和歌山岬道路

【再評価】

平成26年11月  
近畿地方整備局

# 目次

1. 事業の概要
2. 事業の必要性等に関する視点
  - 1) 事業を巡る社会経済情勢等の変化
  - 2) 事業の整備効果
  - 3) 事業の投資効果
  - 4) 地域における計画等
3. 事業の進捗の見込みの視点
4. コスト縮減や代替案立案等の可能性の視点
5. 関係自治体の意見
6. 対応方針(原案)





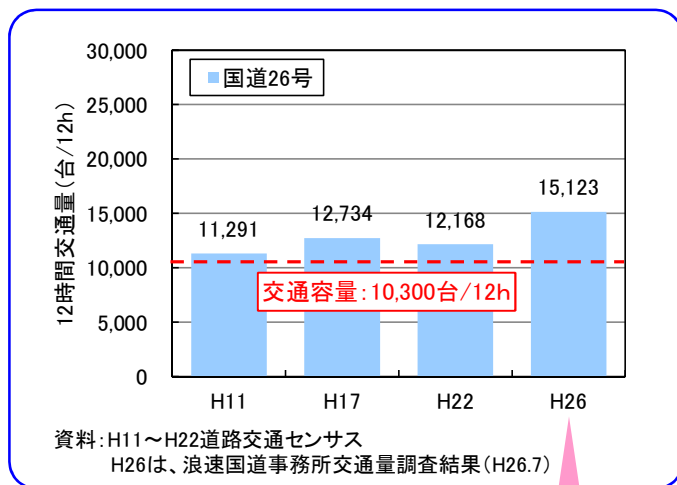


# 2. 事業の必要性等に関する視点

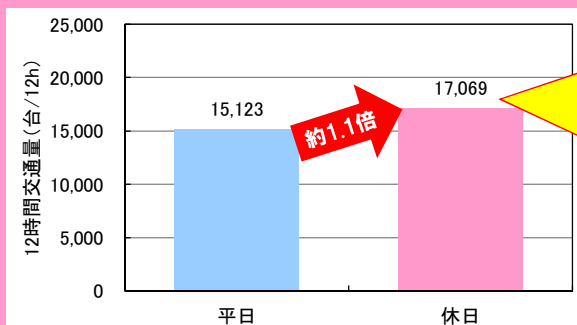
## 1) 事業を巡る社会経済情勢等の変化

- 和歌山岬道路と並行する国道26号は、依然として交通量が多く、交通容量を超過。
- 沿線では、平成26年3月にショッピングモールがオープンし、休日交通が増加。

### ●国道26号の交通量の推移



### ●平日・休日の交通量比較



平成26年3月にオープンした商業施設等の影響から休日の交通量が平日に比べ1.1倍に！

出典: 浪速国道事務所交通量調査結果 平日: 平成26年7月23日(火)  
休日: 平成26年7月21日(月祝)



和歌山市中地先より北向きを撮影(H26.7.21)



和歌山大学入口交差点より南向きを撮影(H26.7.21)







# 2. 事業の必要性等に関する視点

## 2) 事業の整備効果【災害時の代替路の確保】

- 平成25年9月15日の台風18号により、連続雨量250mmを超える豪雨があり阪和自動車道をはじめ、国道26号及び和歌山と大阪を結ぶ主要道路で通行止めが発生。
- 第二阪和国道が全線供用することにより、新たなルートが確保され、自然災害や異常気象等にも強い、安全で安定した物資輸送を確保。

### ●平成25年9月16日の通行規制状況



※異常気象時通行規制区間とは、連続雨量を超過した際に通行止めとなる区間

### ■阪和自動車道

規制開始: H25.9.15 22:35  
規制解除: H25.9.16 14:00  
規制時間: 約15時間

### ■国道26号

規制開始: H25.9.16 5:50  
規制解除: H25.9.16 10:15  
規制時間: 約4時間

### ■(主)岬加太港線

規制開始: H25.9.16 4:30  
規制解除: H25.9.16 11:30  
規制時間: 約7時間

### ■(主)泉佐野岩出線

規制開始: H25.9.15 4:30  
規制解除: H25.9.16 15:20  
規制時間: 約11時間

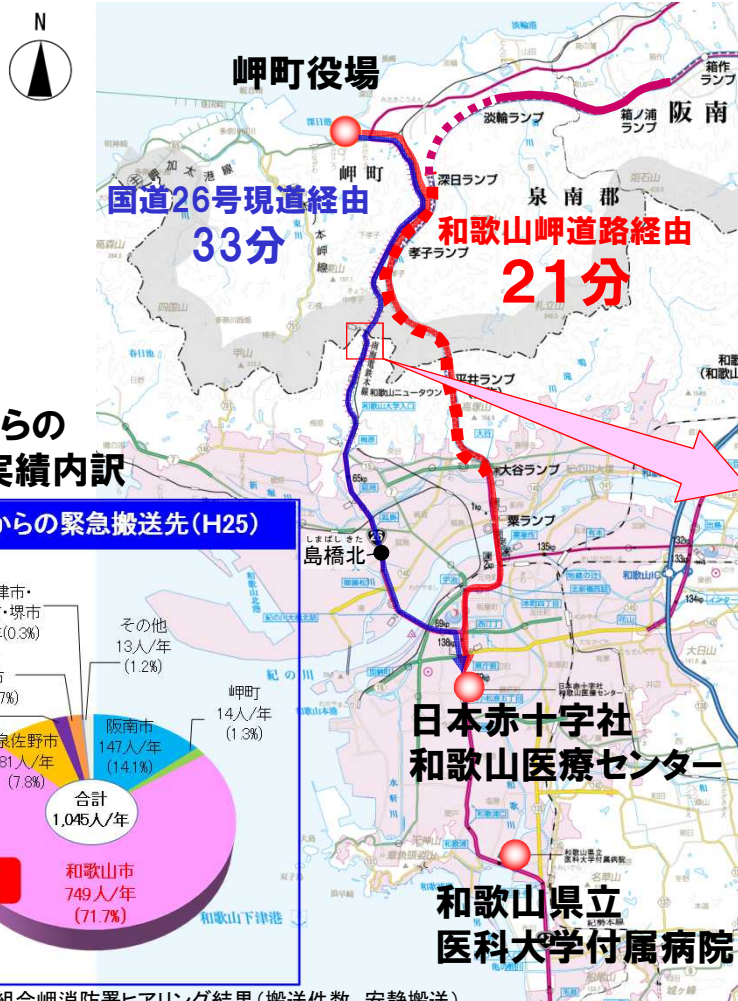
※・H22.7.14 雨量規制による通行止(約7時間)  
・H23.2.14 雪による通行止(約4時間)



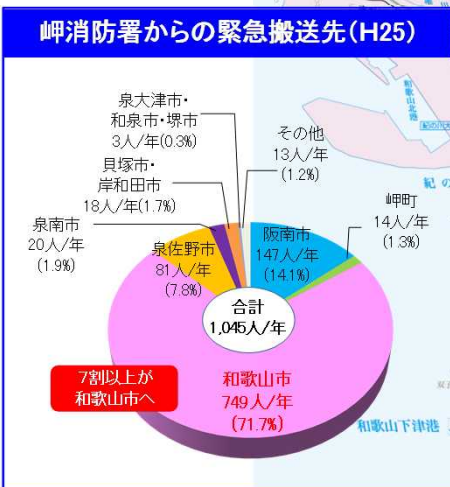
# 2. 事業の必要性等に関する視点

## 2) 事業の整備効果【救急医療活動の支援】

- 岬町から最寄りの第三次医療施設までの所要時間が約12分短縮。
- 渋滞の減少により、救急搬送の時間が安定。
- 急勾配や急カーブなどが無くなることにより、救急搬送時の患者への負担が軽減。



### ◆ 岬町からの搬送実績内訳



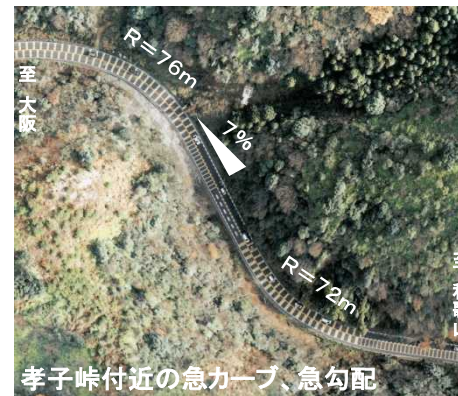
出典：泉州南消防組合岬消防署ヒアリング結果（搬送件数、安静搬送）

### ● 所要時間の短縮



- ・ 搬送時間が **約12分短縮**
- ・ 渋滞の回避も期待される。

### ● 安静搬送の実現



- ・ 急カーブ、急勾配による患者への負担軽減が期待される。

### 【岬消防署ヒアリング結果(H26.7)】

- ・ 骨折者等の患者に対しては、特に揺れによる痛みが無くなることで負担が大幅に軽減される。
- ・ 救急車内で心電図や血圧を測定しており、これまで揺れにより正確な数値が測れなかったが、改善されると思う。

出典：浪速国道事務所旅行速度調査結果(H23.10)  
開通後は、和歌山岬道路開通区間を設計速度(80km/h)で算出



## 2. 事業の必要性等に関する視点

### 2) 事業の整備効果【地域活性化の支援】

■大規模な宅地造成計画地域にランプを設置し、定住促進、郊外型大型ショッピングセンターの立地など、地域活性化が期待される。

#### ●大規模な宅地造成計画



郊外型大型ショッピングセンター  
平成26年3月16日オープン



※写真：H26. 5. 22(木)撮影



※航空写真：H26. 3撮影

## 2. 事業の必要性等に関する視点

### 3) 事業の投資効果

#### ■ 便益(B)

費用便益分析マニュアルに基づき、現時点における知見により、十分な精度で計測が可能でかつ金銭表現が可能である「走行時間短縮」、「走行経費減少」、「交通事故減少」について、道路整備の有無それぞれについて推計し算出。

#### ■ 費用(C)

道路整備に係る建設費、及び維持管理費で算出。

#### ■ 事業全体

便益(B)	走行時間短縮便益	走行経費減少便益	交通事故減少便益	総便益	費用便益比(B/C)
	397億円	33億円	29億円	459億円	
費用(C)	事業費		維持管理費	総費用	
	412億円	33億円	446億円		

#### ■ 算出条件等

基準年 : 平成26年度  
 検討期間 : 50年間  
 現在価値算出のための社会的割引率 : 4%  
 交通量の推計時点 : 平成42年度  
 推計に用いた資料 : 平成17年度 道路交通センサス

#### 適用した費用便益分析

マニュアル : 平成20年11月版  
 事業費 : 463億円  
 維持管理費 : 31百万円/km  
 作成主体 : 近畿地方整備局

#### ■ 残事業

便益(B)	走行時間短縮便益	走行経費減少便益	交通事故減少便益	総便益	費用便益比(B/C)
	397億円	33億円	29億円	459億円	
費用(C)	事業費		維持管理費	総費用	
	177億円	33億円	211億円		

※1 便益・費用については、現在価値化した値である

※2 便益・費用の合計値については、表示桁数の関係で計算値と一致しないことがある

※3 残事業については、基準年の翌年度以降の残事業費及び翌年度以降の供用により発生する便益で算出している

## 2. 事業の必要性等に関する視点

### 4) 地域における計画等

#### ■地域における計画

和歌山岬道路は、下記の計画に位置付けられています。

- ◆大阪府交通道路マスタープラン 平成16年度～平成37年度（平成16年3月）
- ◆大阪府都市基盤整備中期計画(案) 平成24年度～平成34年度（平成24年3月）
- ◆和歌山県長期総合計画 平成20年度～平成29年度（平成20年4月）
- ◆第4次和歌山市長期総合計画 平成20年度～平成29年度（平成21年3月）
- ◆第4次岬町総合計画 平成23年度～平成32年度（平成23年3月）
- ◆阪南市総合計画 平成24年度～平成33年度（平成24年3月）

#### ■これまでの経緯

- ◆昭和34年12月 第二阪和道路建設促進期成同盟会 設立
  - ・構成メンバー 岬町長、阪南市長、堺市長、高石市長、和泉市長、泉大津市長、忠岡町長、岸和田市長、貝塚市長、泉佐野市長、田尻町長、泉南市長
  - （最近の動向） 平成26年10月に国土交通省に対し、第二阪和国道・和歌山岬道路の早期整備を要望
- ◆昭和58年2月 第二阪和国道延伸促進期成同盟会 設立
- ◆平成3年2月 和歌山市第二阪和国道延伸促進期成同盟会 設立
  - ・構成メンバー 和歌山市和歌山岬道路沿線自治会
  - （最近の動向） 平成24年2月に国土交通省に対し、和歌山岬道路の早期整備を要望
- ◆昭和58年11月 阪南市・岬町第二阪和国道延伸連絡協議会 設立
  - ・構成メンバー 阪南市長、岬町長、阪南市議会議員、岬町議会議員及び府市町議会議員等
  - （最近の動向） 平成26年7月に国土交通省に対し、第二阪和国道・和歌山岬道路の早期整備を要望
- ◆平成16年7月 和歌山市・岬町第二阪和国道延伸連絡協議会 設立
  - ・構成メンバー 和歌山市長、岬町長及び市町議会議員等
  - （最近の動向） 平成26年11月に国土交通省に対し、第二阪和国道・和歌山岬道路の早期整備を要望
- ◆平成26年5月 第二阪和国道建設促進和歌山市議会議員連盟が国土交通省に対し第二阪和国道和歌山岬道路の早期開通を要望



# 3. 事業進捗の見込みの視点

## 1) 事業の進捗状況

### 平成26年度事業内容

- ・現在、大阪府域において用地買収・改良工事・橋梁工事・トンネル工事、和歌山県域において用地買収・改良工事・橋梁工事・トンネル工事を実施しています。

### 進捗状況

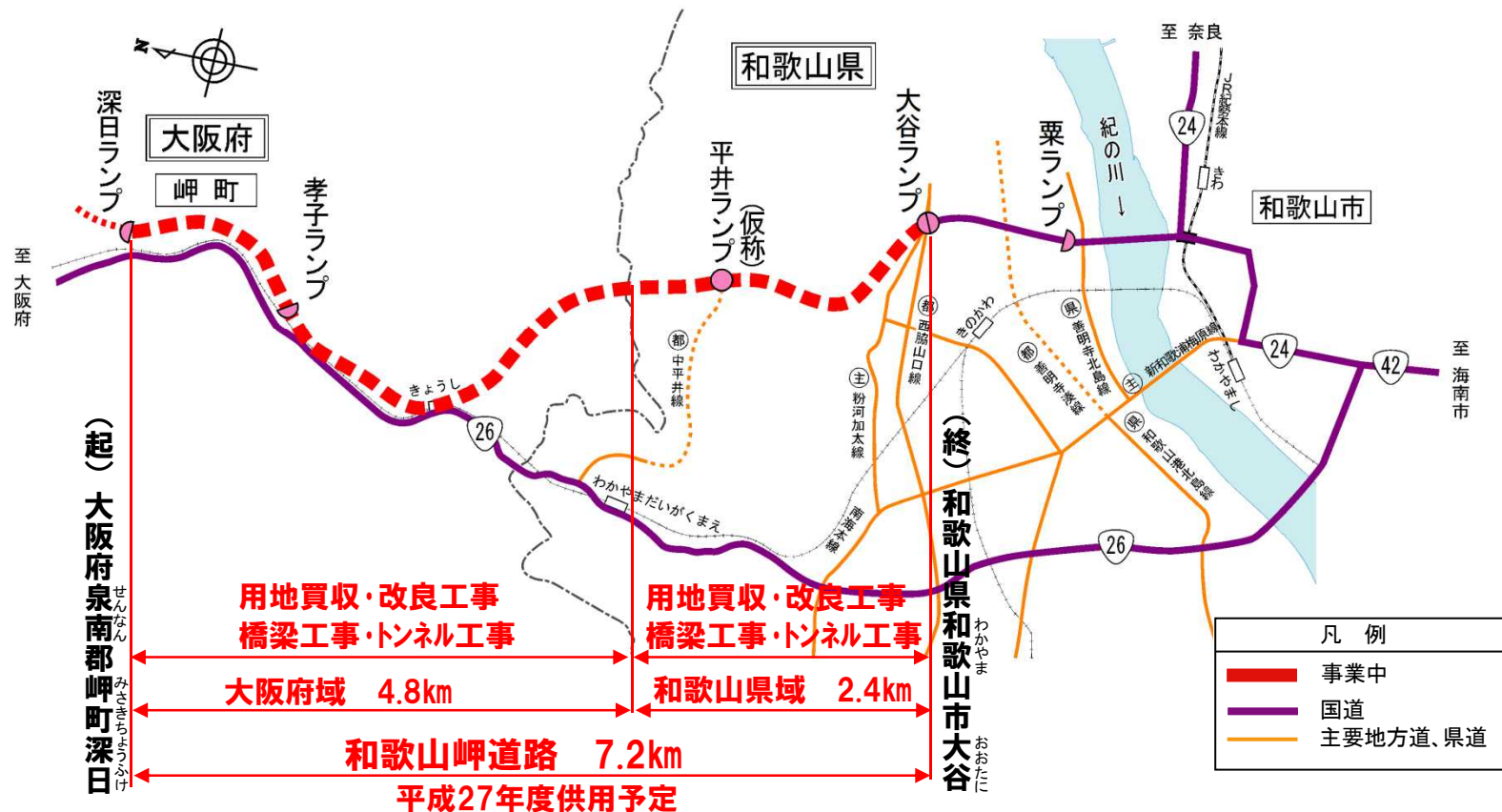
- ・平成25年度末までの進捗は、用地進捗率約95%（面積ベース）、事業進捗率約45%（事業費ベース）です。

### 事業進捗上の課題

- ・詳細な調査・設計による対策工の追加変更等による見直しにより、法面对策工の追加等が生じ、全体事業費の増加が必要。

## 2) 今後の事業スケジュール等

- ・引き続き事業を推進し、平成27年度の2車線供用を目指す。



# 3. 事業進捗の見込みの視点

## ■ 事業費の増加要因

- 詳細設計に必要となる調査を実施した結果、法面の大規模崩壊・地滑り対策等を追加する必要が生じたことによる増。
- 関係機関等の調整の結果、埋蔵文化財の保存対策等の必要が生じたことによる増。
- 上記のように、想定困難な事象が生じたことにより、全体事業費373億円に対し約97億円の事業費増。(約26%増)

単位:百万円

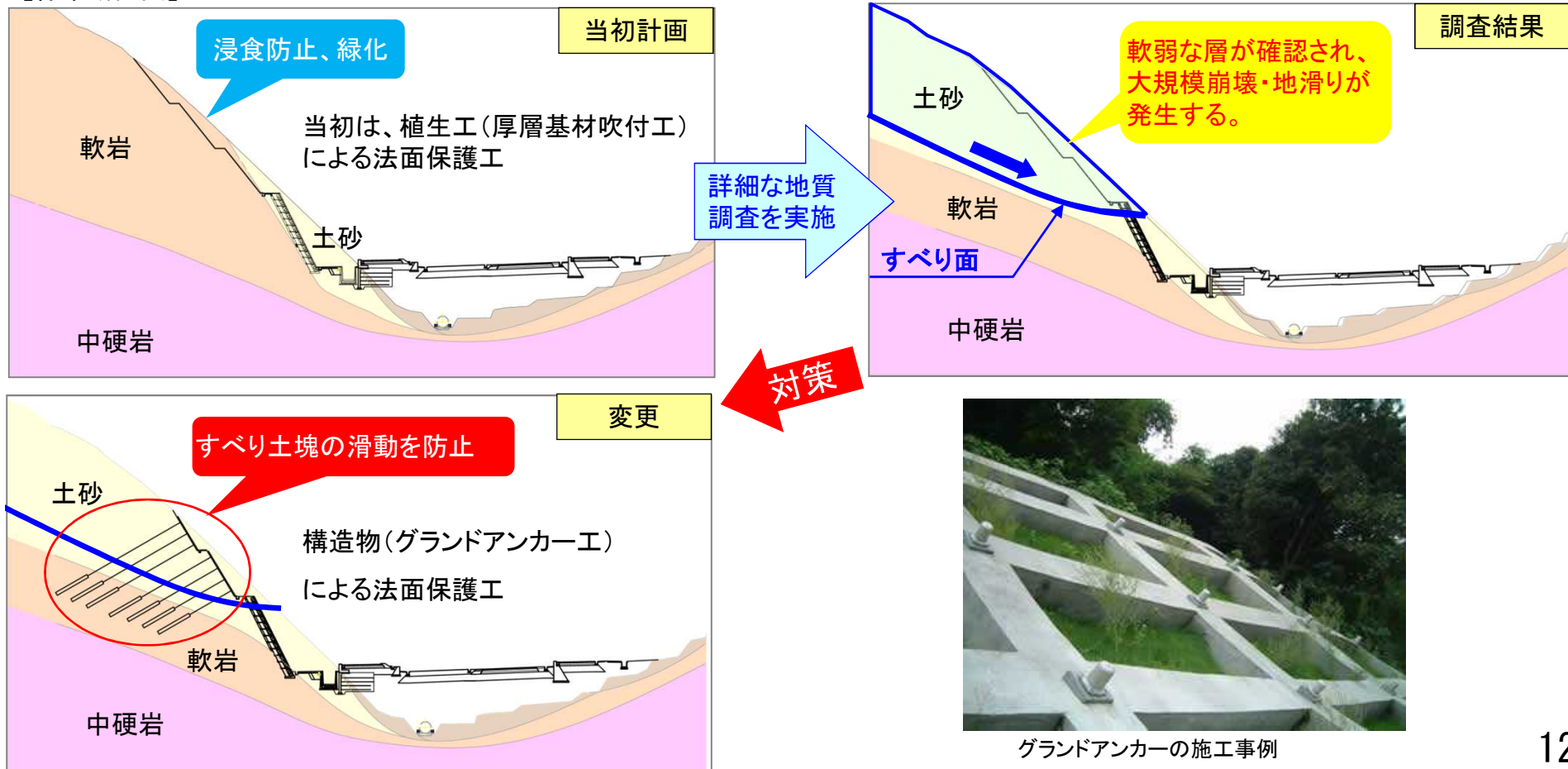
	主な増加理由	金額	備考
①	法面对策工の追加による増加	4,000	切土法面の安定解析結果に基づく対策工追加による増
②	地盤改良工の追加による増加	3,000	軟弱地盤箇所の対策工追加による増
③	トンネル支保工等の対策工の追加による増加	2,000	トンネル支保工や坑口部の補助工法の追加による増
④	関係機関と協議した結果、計画を見直したことによる増加	700	埋蔵文化財の保存対策のため軽量盛土工を追加したことなどによる増
	合計	9,700	

# 3. 事業進捗の見込みの視点

## ① 法面对策工の追加による増加(+40億円)

■当初は、周辺の地質調査結果を基に土質分布を推定していたが、道路設計と並行しながら順次詳細な地質調査(ボーリング等)を実施したところ、軟弱な層が分布していることが確認されたことから、切土部の地すべりの安定解析を実施した結果、法面对策(グランドアンカー)を追加する必要が生じた。

【標準断面図】

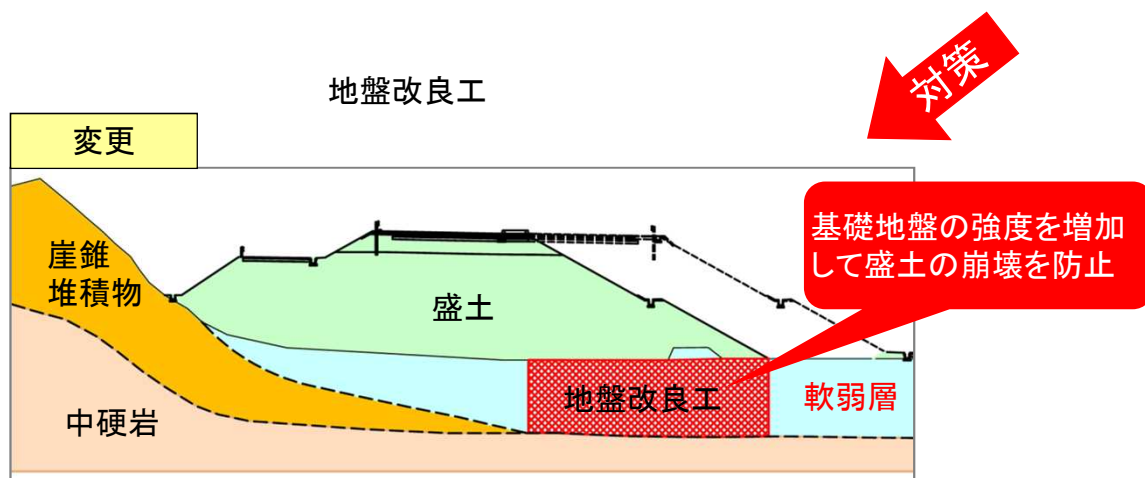
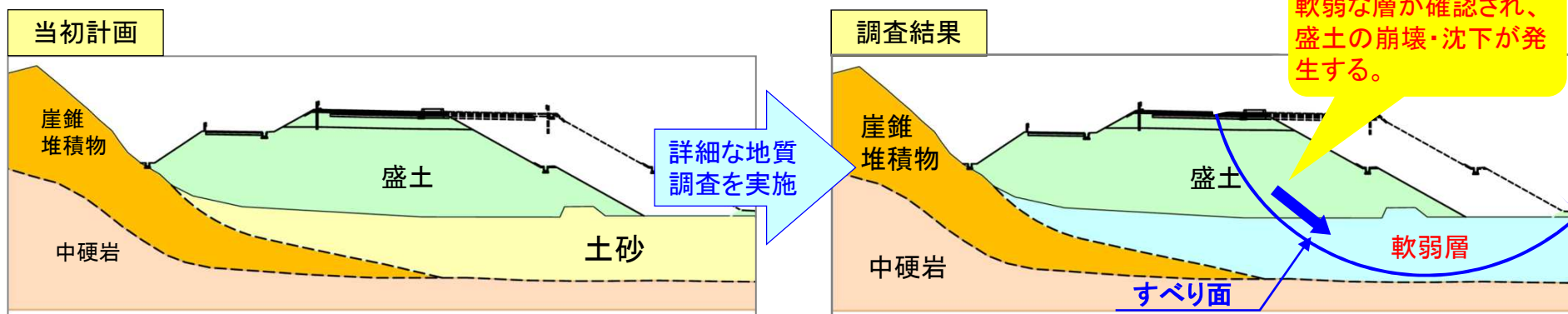


# 3. 事業進捗の見込みの視点

## ②地盤改良工の追加による増加(+30億円)

■当初は、地形状況や既存資料等から土質を推定していたが、詳細な地質調査(ボーリング等)を実施したところ、軟弱な層が確認されたことから地盤改良を追加する必要が生じた。

【標準断面図】



地盤改良の施工事例



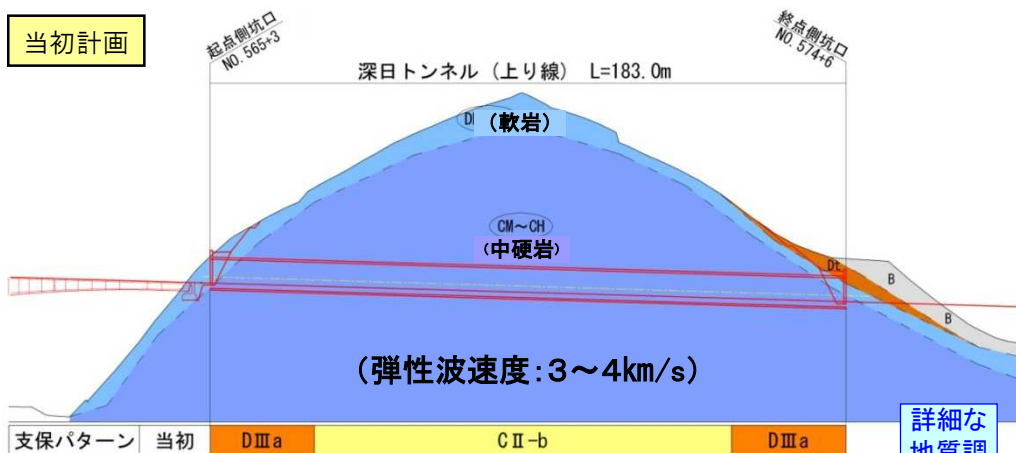
# 3. 事業進捗の見込みの視点

## ③トンネル支保工等の対策工の追加による増加(+20億円)

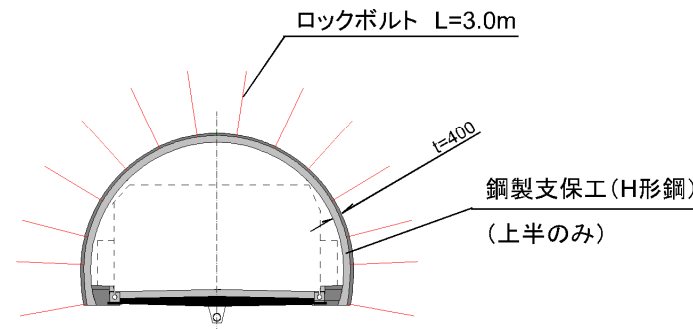
■当初は、既供用区間(第二阪和国道)のデータを基に土質分布を推定していたが、詳細な地質調査を実施した結果、想定以上に地質が悪い区間が存在することが判明したため、支保工の強化、坑口部の掘削補助工法を追加する必要が生じた。(対象:3トンネル)

【断面図】

当初計画

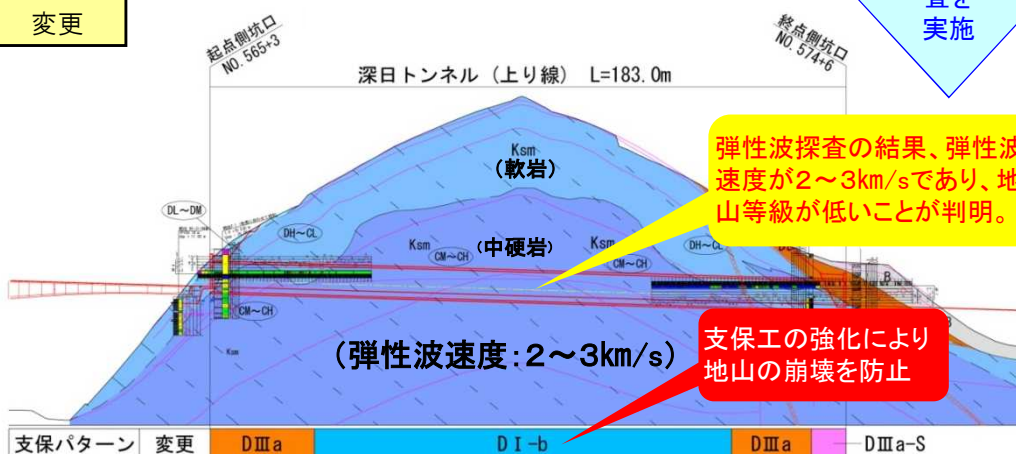


当初:CII-b支保工図

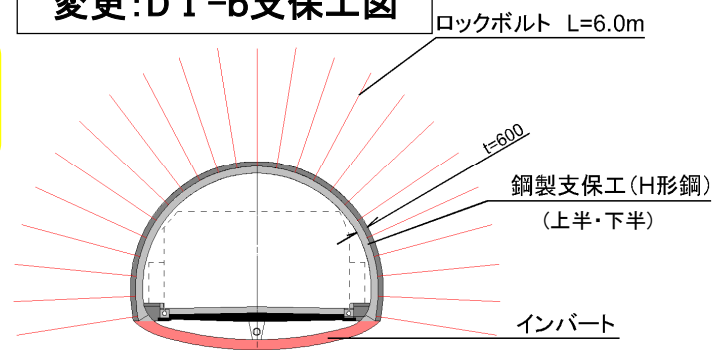


対策

変更



変更:DI-b支保工図



# 3. 事業進捗の見込みの視点

## ■ コスト縮減の取り組み

○道路構造の見直し、新技術の活用により、約7億円のコスト縮減。

単位: 百万円

	主な縮減内容	金額	備考
①	トンネル内空断面の見直しによる減	230	トンネル内空断面を上半単心円形状から上半三心円形状に変更しトンネル断面を小さくすることでコスト縮減
②	ランプ構造の見直しによる減	280	ランプ形状の変更に伴う橋梁延長の短縮及び擁壁構造から盛土構造への変更によるコスト縮減
③	橋梁の橋台位置の変更による減	70	詳細な地形測量の結果、橋台位置の見直しを行い橋長を短縮したことによりコスト縮減
④	擁壁構造の見直しによる減	60	擁壁を盛土構造に変更することでコスト縮減
⑤	橋梁上部工形式の変更による減(新技術の活用)	60	新技術の活用により、主桁の本数を減らすなどによりコスト縮減
	合計	700	

# 3. 事業進捗の見込みの視点

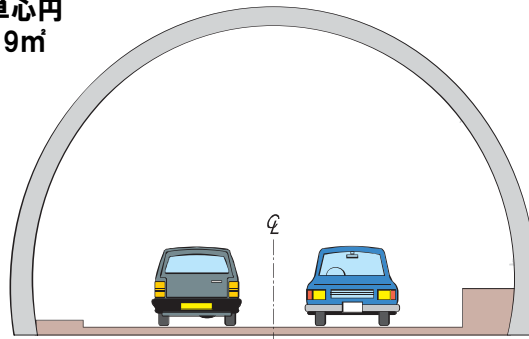
■コスト縮減による減……………**－7億円**

- ①トンネル内空断面の見直しによるコスト縮減【道路構造の見直し】（－2.3億円）
- ②ランプ構造の見直しによるコスト縮減【道路構造の見直し】（－2.8億円）

## ①トンネル内空断面見直し

### ●当初

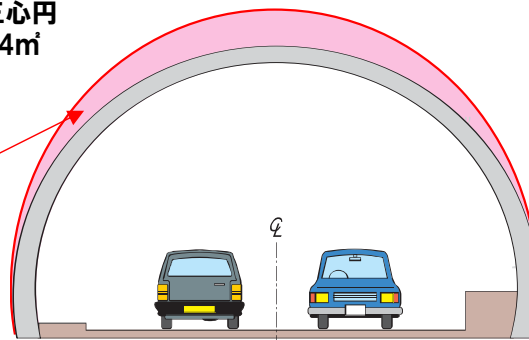
形状：上半単心円  
内空断面積：81.719㎡



### ●変更

形状：上半三心円  
内空断面積：77.874㎡

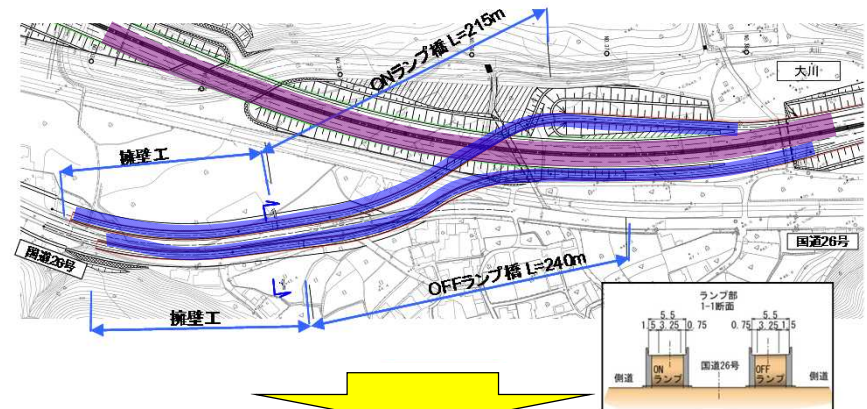
見直し箇所  
(断面を縮小)



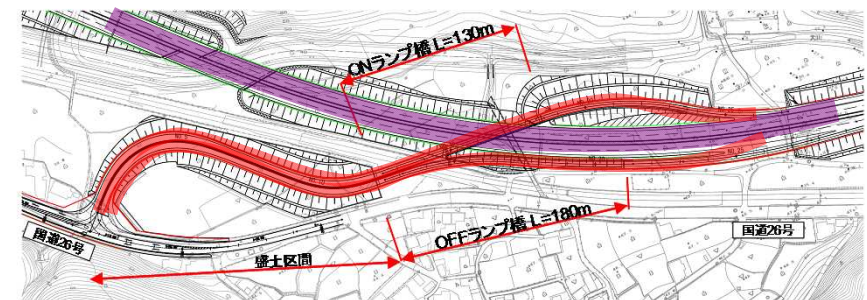
トンネルの安定性や経済性を考慮して、従来の上半単心円断面から上半三心円断面に断面縮小することによりコスト縮減

## ②ランプ構造の見直し

### ●当初（直結型）



### ●変更（T字型）



国道26号と接続する形状を、現況地形、交通の安全性や経済性等を総合的に考慮して、T字型にすることによりコスト縮減

# 3. 事業進捗の見込みの視点

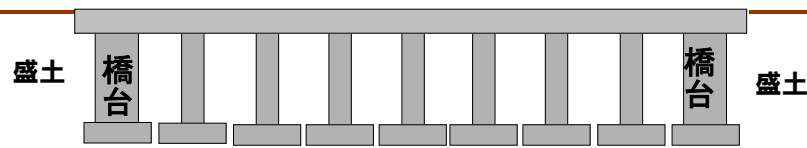
■コスト縮減による減.....-7億円

- ③橋梁の橋台位置の変更によるコスト縮減【道路構造の見直し】(-0.7億円)
- ④擁壁構造の見直しによるコスト縮減【道路構造の見直し】(-0.6億円)
- ⑤橋梁上部工形式の変更によるコスト縮減【新技術の活用】(-0.6億円)

## ③橋梁の橋台位置の変更

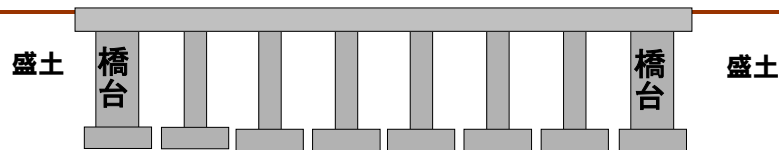
●当初

8径間連続橋 (L=308m)



●変更

7径間連続橋 (L=277m)

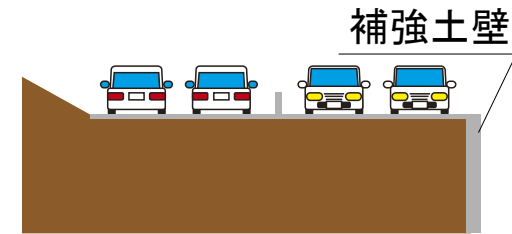


現況地形から橋台位置を見直し、橋梁区間を短くし、その分盛土に変更することでコスト縮減

## ④擁壁構造の見直し

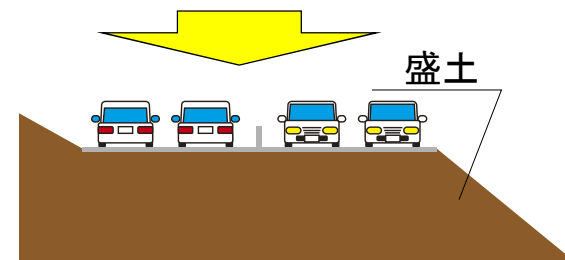
●当初

直壁 (補強土壁)



●変更

盛土

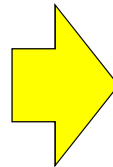
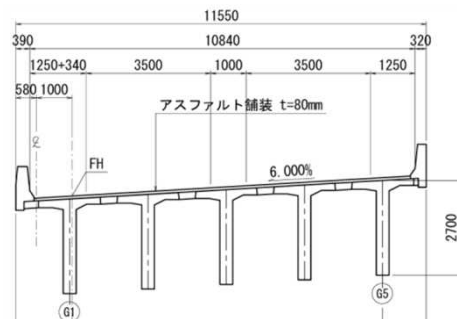


構造物から盛土に見直すことでコスト縮減

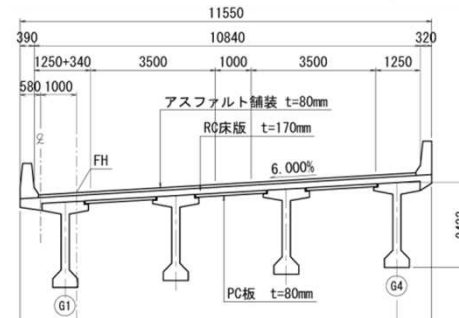
## ⑤橋梁上部工形式の変更

●当初

ポステンT桁橋



●変更 連結コンボ橋 (新技術)



新技術を活用し、主桁の少数化と現場作業の省力化でコスト縮減



# 3. 事業進捗の見込みの視点

## ■ 全体事業費の増加

○約7億円のコスト縮減を図ったものの、法面対策工等の追加により約97億円の事業費増が生じたため、事業全体で90億円の増額が発生。

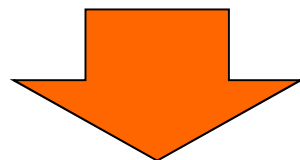
○全体事業費 373億円 ⇒ 463億円に増額（約24%増）

単位:百万円

	主な増減理由	金額	備考
①	法面対策工の追加による増加	4,000	切土法面の安定解析結果に基づく対策工追加による増
②	地盤改良工の追加による増加	3,000	軟弱地盤箇所の対策工追加による増
③	トンネル支保工等の対策工の追加による増加	2,000	トンネル支保工や坑口部の補助工法の追加による増
④	関係機関と協議した結果、計画を見直したことによる増加	700	埋蔵文化財の保存対策のため軽量盛土工を追加したことなどによる増
⑤	トンネル内空断面の見直しによる減	-230	内空断面を縮小(上半単心円→上半三心円)による減
⑥	ランプ構造の見直しによる減	-280	ランプの計画見直しによる橋長短縮等による減
⑦	橋梁の橋台位置の変更による減	-70	橋台位置の見直しによる橋長短縮等による減
⑧	擁壁構造の見直しによる減	-60	直壁(補強土壁)を一部盛土に変更したことによる減
⑨	橋梁上部工形式の変更による減(新技術の活用)	-60	橋梁形式変更に伴う減(ポステンT桁→PCコンボ橋)
	合計	9,000	

## 4. コスト縮減や代替案立案等の可能性の視点

和歌山岬道路の計画は、一般国道26号の交通混雑の緩和や交通安全の確保、災害時の府県間の安定的な移動、周辺の土地利用状況等を勘案し選定された合理的な計画であり、周辺環境の保全を図っています。



今後も、技術の進展に伴う新技術・新工法の採用など、コスト縮減に努めながら引き続き事業を推進していきます。

## 5. 関係自治体の意見

### ■大阪府知事

平成26年10月27日 交整第1723号

近畿地方整備局事業評価監視委員会に諮る対応方針(原案)の作成に係る意見照会について(回答)

1. 平成27年度供用を目標に事業が進められているところであるが、一日も早い全線供用に向け、事業推進を図りたい。
2. 事業の実施にあたり、より一層のコスト縮減はもとより、引き続き、透明性の確保に努め、工事工程や事業費について、適宜説明を行われたい。
3. 今後とも事業を円滑に進めるため、沿道環境への配慮や交通安全対策、地域振興などに関する地域住民の意見を十分に踏まえながら、事業の推進に努められたい。

### ■和歌山県知事

平成26年11月8日 県総第401号

近畿地方整備局事業評価監視委員会に諮る対応方針(原案)の作成に係る意見照会について(回答)

国道26号和歌山岬道路は、和歌山県と大阪府との連携を強化し、広域的なネットワークを形成する、重要な府県間道路であります。

また、国道26号の交通混雑の緩和、交通安全の確保、異常気象時通行規制の解消、救急医療活動の支援等の整備効果を高めるためにも、早期の全線供用が必要であり、対応方針(原案)のとおり、事業継続が妥当と考えます。

なお、事業実施にあたっては、より一層のコスト縮減等を図り、平成27年国体開催までに供用させるようお願いいたします。

## 6. 対応方針(原案)

### 1. 事業の必要性等に関する視点

- ・平成23年3月に供用した第二阪和国道箱ノ浦ランプ～淡輪ランプ間に並行する国道26号では平日、休日ともに発生していた渋滞が解消しており、和歌山岬道路でも、同様の渋滞解消効果に期待。
- ・第二阪和国道が全線供用することにより、新たなルートが確保され、自然災害や異常気象等にも強い、安全で安定した物資輸送を確保。
- ・急勾配や急カーブなどが無くなることにより、救急搬送時の患者への負担が軽減。
- ・費用便益比(B/C)は、事業全体で1.03、残事業で2.2。

### 2. 事業進捗の見込みの視点

- ・平成19年度に新規事業化し、現在は用地買収及び改良工事等を推進しています。
- ・引き続き事業を推進し、平成27年度の2車線供用を目指す。

和歌山岬道路は、事業の必要性等に関する視点、事業の進捗の見込みの視点から継続が妥当と判断できる。

引き続き事業を推進し、平成27年度の2車線供用を目指すことが適切である。

**事業継続**





No. 10-2  
近畿地方整備局  
事業評価監視委員会  
平成26年度第3回

一般国道26号  
わかやまみさき  
和歌山岬道路  
【再評価】

平成26年11月  
近畿地方整備局

様式1 客観的評価指標による事業採択の前提条件、事業の効果や必要性の確認の状況

事業名	国道26号 和歌山岬道路
事業主体	近畿地方整備局

●事業採択の前提条件を確認するための指標

		指 標	指標チェックの根拠
前提条件	事業の効率性	■ 便益が費用を上回っている	全事業：費用便益比（B/C）=1.0（経済的純現在価値（B-C）=14億円、経済的内部収益率（EIRR）=4.1%） 残事業：費用便益比（B/C）=2.2（経済的純現在価値（B-C）=249億円、経済的内部収益率（EIRR）=9.2%）

●事業の効果や必要性を評価するための指標

政策目標		指 標 （対象となる指標のみ記載。効果が確認されるものは口を■に変更）	指標チェックの根拠
1. 活力 円滑な モビリティの 確保		● 現道等の年間渋滞損失時間（人・時間）及び削減率	区間a（費用便益分析対象区間）について 渋滞損失時間（現況）：37006万人・時間/年 渋滞損失削減時間：100万人・時間/年（56508万人・時間/年⇒56408万人・時間/年） 区間b（当該区間／並行区間）について：国道26号（主）和歌山貝塚線（主）泉佐野岩出線 並行区間等（当該区間）の渋滞損失時間：153万人・時間/年 並行区間等（当該区間）の渋滞損失削減率：9割削減
		■ 現道等における混雑時旅行速度が20km/h未満である区間の旅行速度の改善が期待される	国道26号（和歌山市西汀丁～気象台前）、（旅行速度12.6km/h→改善見込み） 国道26号（和歌山市梅原）、（旅行速度14.1km/h→改善見込み）
		□ 現道又は並行区間等における踏切交通遮断量が10,000台時/日以上での踏切道の除却もしくは交通改善が期待される	
		■ 現道等に、当該路線の整備により利便性の向上が期待できるバス路線が存在する	和歌山バス
		□ 新幹線駅もしくは特急停車駅へのアクセス向上が見込まれる	
		■ 第一種空港、第二種空港、第三種空港もしくは共用飛行場へのアクセス向上が見込まれる	和歌山市～関西国際空港（所要時間：59分～43分）
		物流効率化 の支援	■ 重要港湾もしくは特定重要港湾へのアクセス向上が見込まれる
	□ 農林水産業を主体とする地域において農林水産品の流通の利便性向上が見込まれる		
	□ 現道等における、総重量25tの車両もしくはISO規格背高海上コンテナ輸送車が通行できない区間を解消する		

1. 活力	都市の再生	<input type="checkbox"/> 都市再生プロジェクトを支援する事業である	
		<input type="checkbox"/> 広域道路整備基本計画に位置づけのある環状道路を形成する	
		<input type="checkbox"/> 市街地再開発、区画整理等の沿道まちづくりとの連携あり	
		<input type="checkbox"/> 中心市街地内で行う事業である	
		<input type="checkbox"/> 幹線都市計画道路網密度が1.5km/km <sup>2</sup> 以下である市街地内での事業である	
		<input type="checkbox"/> DID区域内の都市計画道路整備であり、市街地の都市計画道路網密度が向上する	
		<input type="checkbox"/> 対象区間が現在連絡道路がない住宅地開発(300戸以上又は16ha以上、大都市においては100戸以上又は5ha以上)への連絡道路となる	
	国土・地域ネットワークの構築	<input type="checkbox"/> 高速自動車国道と並行する自専道(A'路線)としての位置づけあり	
		<input checked="" type="checkbox"/> 地域高規格道路の位置づけあり	第二阪和国道
		<input type="checkbox"/> 当該路線が新たに拠点都市間を高規格幹線道路で連絡するルートを構成する(A'路線としての位置づけがある場合)	
		<input type="checkbox"/> 当該路線が隣接した日常活動圏中心都市間を最短時間で連絡する路線を構成する	
		<input type="checkbox"/> 現道等における交通不能区間を解消する	
		<input type="checkbox"/> 現道等における大型車のすれ違い困難区間を解消する	
		<input checked="" type="checkbox"/> 日常活動圏の中心都市へのアクセス向上が見込まれる	和歌山市～泉南市(所要時間:43分～26分)
個性ある地域の形成	<input type="checkbox"/> 鉄道や河川等により一体的発展が阻害されている地区を解消する		
	<input checked="" type="checkbox"/> 拠点開発プロジェクト、地域連携プロジェクト、大規模イベントを支援する	2015紀の国わかやま国体	
	<input checked="" type="checkbox"/> 主要な観光地へのアクセス向上が期待される	みさき公園(約35.5万人 H24年度) 和歌山城(約20万人 H24年度)	
	<input type="checkbox"/> 新規整備の公共公益施設へ直結する道路である		

2. 暮らし	歩行者・自転車のための生活空間の形成	<input type="checkbox"/> 自転車交通量が500台/日以上、自動車交通量が1,000台/12h以上、歩行者交通量が500人/日以上に全てに該当する区間において、自転車利用空間を整備することにより、当該区間の歩行者・自転車の通行の快適・安全性の向上が期待できる <input type="checkbox"/> バリアフリー新法に基づく特定道路が新たにバリアフリー化される	
	無電柱化による美しい町並みの形成	<input type="checkbox"/> 対象区間が電線類地中化5ヶ年計画に位置づけあり <input type="checkbox"/> 市街地又は歴史景観地区（歴史的風土特別保存区域及び重要伝統的建造物保存地区）等の幹線道路において新たに無電柱化を達成する	
	安全で安心できるくらしの確保	<input checked="" type="checkbox"/> 三次医療施設へのアクセス向上が見込まれる	岬町～日本赤十字社和歌山医療センター（所要時間：33分→21分）
3. 安全	安全な生活環境の確保	<input type="checkbox"/> 現道等に死傷事故率が500件/億台キロ以上である区間が存在する場合において、交通量の減少、歩道の設置又は線形不良区間の解消等により、当該区間の安全性の向上が期待できる <input type="checkbox"/> 当該区間の自動車交通量が1,000台/12h以上（当該区間が通学路である場合は500台/12h以上）かつ歩行者交通量100人/日以上（当該区間が通学路である場合は児童、園児が40人/日以上）の場合、又は歩行者交通量500人/日以上の場合において、歩道が無い又は狭小な区間に歩道が設置される	
	災害への備え	<input type="checkbox"/> 近隣市へのルートが1つしかなく、災害による1～2箇所の道路寸断で孤立化する集落を解消する <input checked="" type="checkbox"/> 対象区間が、都道府県地域防災計画、緊急輸送道路ネットワーク計画又は地震対策緊急整備事業計画に位置づけがある、又は地震防災緊急事業5ヶ年計画に位置づけのある路線（以下「緊急輸送道路」という）として位置づけあり <input checked="" type="checkbox"/> 緊急輸送道路が通行止になった場合に大幅な迂回を強いられる区間の代替路線を形成する	緊急輸送道路ネットワーク計画（第1次緊急輸送道路：和歌山県） 広域緊急交通路（重点14路線：大阪府）  国道26号（大阪府泉南郡岬町深日～和歌山市大谷）
		<input type="checkbox"/> 並行する高速ネットワークの代替路線として機能する（A'路線としての位置づけがある場合）	
		<input type="checkbox"/> 現道等の防災点検又は震災点検要対策箇所もしくは架替の必要のある老朽橋梁における通行規制等が解消される <input checked="" type="checkbox"/> 現道等の事前通行規制区間、特殊通行規制区間又は冬期交通障害区間を解消する	異常気象時事前通行規制区間 国道26号孝子峠付近
4. 環境	地球環境の保全	<input checked="" type="checkbox"/> 対象道路の整備により削減される自動車からのCO2排出量	CO2排出削減量：2438.61t-CO2/年
	生活環境の改善・保全	<input checked="" type="checkbox"/> 現道等における自動車からのNO2排出削減率	（推計結果） 評価対象区間（現道／平行区間等）：国道26号（主）和歌山貝塚線（主）泉佐野岩出線 排出削減量：64.26t/年、排出削減率：7割削減 （バイパス事業の場合）バイパス等についてNOx排出増加量：37.93t/年
		<input checked="" type="checkbox"/> 現道等における自動車からのSPM排出削減率	（推計結果） 評価対象区間（現道／平行区間等）：国道26号（主）和歌山貝塚線（主）泉佐野岩出線 排出削減量：3.83t/年、排出削減率：7割削減 （バイパス事業の場合）バイパス等についてSPM排出増加量：2.05t/年
		<input type="checkbox"/> 現道等で騒音レベルが夜間要請限度を超過している区間について、新たに要請限度を下回ることが期待される区間がある	
		<input type="checkbox"/> その他、環境や景観上の効果が期待される	
5. その他	他のプロジェクトとの関係	<input type="checkbox"/> 関連する大規模道路事業と一体的に整備する必要あり	
		<input type="checkbox"/> 他機関との連携プログラムに位置づけられている	
	その他	<input type="checkbox"/> その他、対象地域や事業に固有の事情等、以上の項目に属さない効果が期待される	



(再評価)

様式-2

## 費用便益分析の結果

路線名	事業名	延長	事業種別	現拡・BP・その他の別
国道26号	和歌山岬道路	L=7.2km	地域高規格	BP

計画交通量 (台/日)	車線数	事業主体
21,700	4車線	近畿地方整備局

### ① 費用

	事業費	維持管理費	合計
基準年	平成26年度		
単純合計	438億円	107億円	544億円
うち残事業分	206億円	107億円	313億円
基準年における 現在価値 (C)	412億円	33億円	446億円
うち残事業分	177億円	33億円	211億円

### ② 便益

	走行時間 短縮便益	走行経費 減少便益	交通事故 減少便益	合計
基準年	平成26年度			
供用年	平成35年度			
単年便益 (初年便益)	28億円	2.5億円	2.1億円	33億円
基準年における 現在価値 (B)	397億円	33億円	29億円	459億円
うち残事業分	397億円	33億円	29億円	459億円

注) 「供用年」は、便益算定上の仮定の供用年である。

③ 結果

費用便益比（事業全体）	1.03
経済的純現在価値（事業全体）	14億円
経済的内部収益率（事業全体）	4.1%
費用便益比（残事業）	2.2
経済的純現在価値（残事業）	249億円
経済的内部収益率（残事業）	9.2%

注）費用及び便益の合計は、表示桁数の関係で計算値と一致しないことがある。

④ 感度分析

【事業全体】

	基準値	変動ケース	費用便益比（B/C）
交通量 （全事業）	21,700台/日	±10%	0.9~1.2
事業費 （全事業）	206億円	±10%	1.0~1.1
事業期間 （全事業）	8年	±20%	1.0~1.1

【残事業】

	基準値	変動ケース	費用便益比（B/C）
交通量 （残事業）	21,700台/日	±10%	1.8~2.6
事業費 （残事業）	206億円	±10%	2.0~2.4
事業期間 （残事業）	8年	±20%	2.1~2.3

# 交通状況の変化

様式-3①

## 事業名：和歌山岬道路（事業全体）

（推計時点 H42年）

			整備なし(A)	整備あり(B)	
①新設・改築道路 (7.2km)	交通量 <sup>※1</sup>	[台/日]	0	21,400	
	走行時間 <sup>※2</sup>	[分]	0	7	
	走行時間費用 <sup>※3</sup>	[億円/年]	0.00	28.84	
②主な周辺道路 <sup>※4</sup>	国道26号 (7.2km)	交通量	[台/日]	14,300	1,900
		走行時間	[分]	23	13
		走行時間費用	[億円/年]	62.05	4.22
	(主)和歌山貝塚線 (9.2km)	交通量	[台/日]	5,000	2,100
		走行時間	[分]	18	15
		走行時間費用	[億円/年]	15.91	5.77
	(主)泉佐野岩出線 (9.8km)	交通量	[台/日]	7,700	6,300
		走行時間	[分]	16	15
		走行時間費用	[億円/年]	23.34	18.93
		交通量	[台/日]	0	0
		走行時間	[分]	0	0
		走行時間費用	[億円/年]	0.00	0.00
		交通量	[台/日]	0	0
		走行時間	[分]	0	0
		走行時間費用	[億円/年]	0.00	0.00
③その他道路合計 (6,546.1km)	走行時間費用	[億円/年]	31,761.23	31,776.25	
			走行時間費用 整備なし(A)	走行時間費用 整備あり(B)	走行時間短縮便益 (A - B)
合計：6,579.5km	走行時間短縮便益	[億円/年]	31,862.53	31,834.00	28.53

※1： 当該道路内の平均値または代表的な値を記載する。

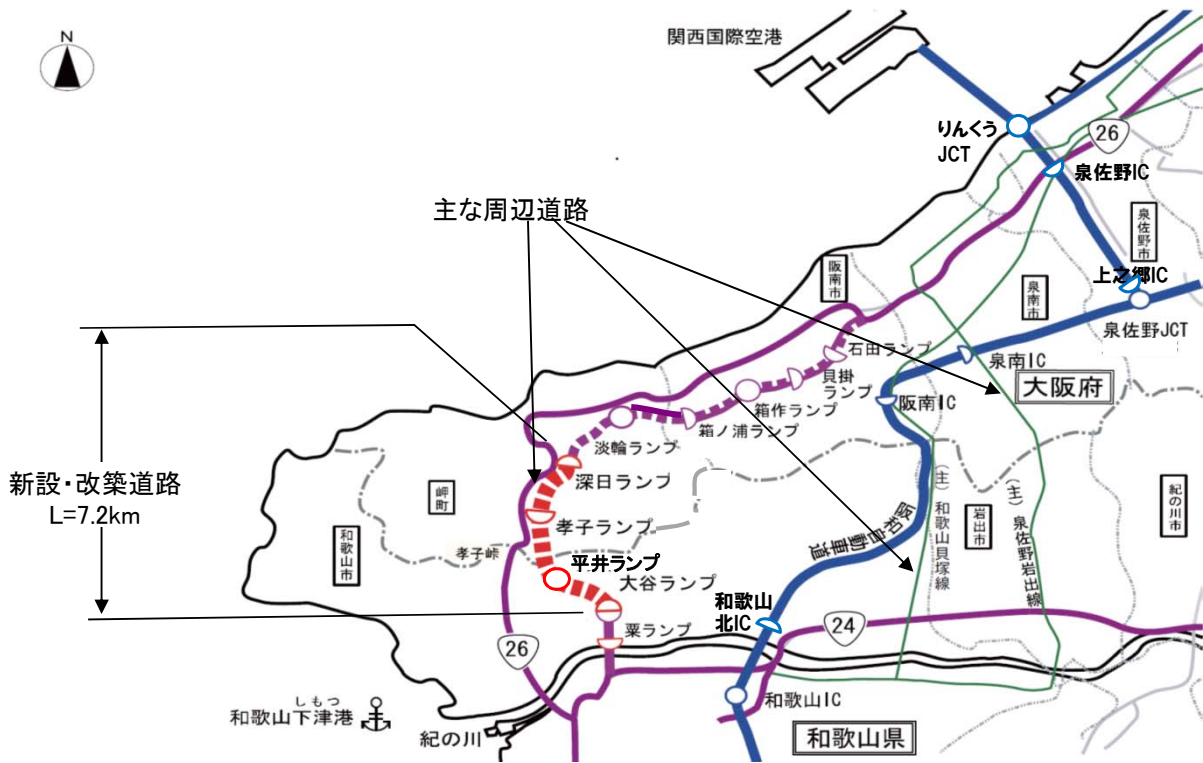
※2： 配分計算結果を用いる場合と当該道路の代表的な速度から算出する場合がある。

※3： 費用便益分析マニュアルに従い車種別、区間別に算出したものの合計値である。

※4： 当該事業により大きな変化が生じる道路について3～5路線程度以内で記載する。

※5： ②主な周辺道路における交通量の予測地点は、事業全体と残事業で同地点において設定する。

(2) 図面(①、②)に該当する道路を明示すること



# 交通状況の変化

様式-3①

## 事業名：和歌山岬道路（残事業）

（推計時点 H42年）

			整備なし(A)	整備あり(B)	
①新設・改築道路 (7.2km)	交通量 <sup>※1</sup>	[台/日]	0	21,400	
	走行時間 <sup>※2</sup>	[分]	0	7	
	走行時間費用 <sup>※3</sup>	[億円/年]	0.00	28.84	
②主な周辺道路 <sup>※4</sup>	国道26号 (7.2km)	交通量	[台/日]	14,300	1,900
		走行時間	[分]	23	13
		走行時間費用	[億円/年]	62.05	4.22
	(主)和歌山貝塚線 (9.2km)	交通量	[台/日]	5,000	2,100
		走行時間	[分]	18	15
		走行時間費用	[億円/年]	15.91	5.77
	(主)泉佐野岩出線 (9.8km)	交通量	[台/日]	7,700	6,300
		走行時間	[分]	16	15
		走行時間費用	[億円/年]	23.34	18.93
		交通量	[台/日]	0	0
		走行時間	[分]	0	0
		走行時間費用	[億円/年]	0.00	0.00
		交通量	[台/日]	0	0
		走行時間	[分]	0	0
		走行時間費用	[億円/年]	0.00	0.00
③その他道路合計 (6,546.1km)	走行時間費用	[億円/年]	31,761.23	31,776.25	
			走行時間費用 整備なし(A)	走行時間費用 整備あり(B)	走行時間短縮便益 (A - B)
合計：6,579.5km	走行時間短縮便益	[億円/年]	31,862.53	31,834.00	28.53

※1： 当該道路内の平均値または代表的な値を記載する。

※2： 配分計算結果を用いる場合と当該道路の代表的な速度から算出する場合がある。

※3： 費用便益分析マニュアルに従い車種別、区間別に算出したものの合計値である。

※4： 当該事業により大きな変化が生じる道路について3～5路線程度以内で記載する。

※5： ②主な周辺道路における交通量の予測地点は、事業全体と残事業で同地点において設定する。





## 費用便益分析の条件

事業名：和歌山岬道路

(2)

項目		チェック欄
算出マニュアル	費用便益分析マニュアル (平成20年11月 国土交通省 道路局 都市・地域整備局)	<input checked="" type="checkbox"/>
	その他	<input type="checkbox"/>
分析の基本的事項	分析対象期間	50年間
	社会的割引率	4%
	基準年次	平成26年
交通流の推計時点	1時点のみ推計	<input checked="" type="checkbox"/> (H42)
	複数時点での推計	<input type="checkbox"/>
推計の状況	整備の有無それぞれで交通流を推計	<input checked="" type="checkbox"/>
	整備の有無のいずれかのみ推計 いずれかのみ の推計の場合	<input type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無 いずれかのみ の推計とした理由を記載
推計に用いたOD表	道路交通センサスをベースとした自動車OD表 (三段階推定法)	<input checked="" type="checkbox"/> (H17センサスベース)
	パーソントリップ調査をベースとした自動車OD表 (四段階推定法)	<input type="checkbox"/>
	その他( )	<input type="checkbox"/>
開発交通量の考慮	無	<input checked="" type="checkbox"/>
	有	<input type="checkbox"/>
	有の場合のみ	考慮した開発交通量(トリップ数) 考慮した理由を記載 ( )台トリップ/日
配分交通量の推計手法	Q-V式を用いた配分	<input type="checkbox"/>
	転換率式を用いた配分	<input type="checkbox"/>
	Q-V式と転換率式の併用による配分	<input type="checkbox"/>
	均衡配分(リンクパフォーマンス関数を用いた配分)	<input type="checkbox"/>
	簡易手法	<input type="checkbox"/>
	簡易手法の採択理由	小規模事業である 山間部海岸部で併行道路が少ない その他( )
	簡易手法の考え方(将来交通量の設定方法等)	
速度設定の考え方	各回の配分終了時の速度を交通量でウェイト付け して設定 採用理由を記載	<input type="checkbox"/>
	最終配分の速度	<input checked="" type="checkbox"/>
	採用理由を記載 分割回毎の極端な速度差が生じないBPR関数の適用に併せて、 最終速度を採用。	
	その他( )	<input type="checkbox"/>

交通流推計

(3)

項目		チェック欄		
便益の算定	休日交通の影響	考慮しない	<input checked="" type="checkbox"/>	
		考慮する	<input type="checkbox"/>	
		考慮する場合のみ	面的に考慮	<input type="checkbox"/>
			対象路線のみ考慮	<input type="checkbox"/>
			採用した休日係数 休日係数を考慮した理由および採用した休日係数の考え方を記載	( ) %
	災害等による通行止めの影響	考慮しない	<input checked="" type="checkbox"/>	
		考慮する	<input type="checkbox"/>	
		考慮する場合のみ	採用した通行止め日数 採用した通行止め日数の考え方を記載	( ) 日
			とり止め交通を考慮する とり止め交通を考慮しない場合はその理由、考慮した場合はその考え方を記載	<input type="checkbox"/>
	冬期交通の影響	考慮しない	<input checked="" type="checkbox"/>	
考慮する		<input type="checkbox"/>		
考慮する場合のみ		採用した冬期日数 採用した冬期日数の考え方を記載	( ) 日	
		冬期の走行速度と交通容量の関係 設定の考え方を記載		
交通流推計の時点以外の便益の算定	ブロック別・車種別走行台キロの伸び率による設定	<input checked="" type="checkbox"/>		
	その他 ( )	<input type="checkbox"/>		
車種別時間価値原単位	費用便益分析マニュアルの値を使用	<input checked="" type="checkbox"/>		
	独自に設定した値を使用	<input type="checkbox"/>		
車種別走行経費原単位	費用便益分析マニュアルの値を使用	<input checked="" type="checkbox"/>		
	独自に設定した値を使用	<input type="checkbox"/>		
交通事故減少便益算定	中央分離帯の有無を考慮	<input type="checkbox"/>		
	中央分離帯の有無を考慮しない	<input checked="" type="checkbox"/>		
走行時間短縮・走行経費減少・交通事故減少以外の便益	考慮しない	<input checked="" type="checkbox"/>		
	考慮する (考慮の場合、算出根拠を添付すること)	<input type="checkbox"/>		
その他				



## 費用の現在価値算定表(事業全体)

維持管理費の単純単価の算出(消費税相当額含む)

箇所名: 国道26号 和歌山岬道路

単価(億円)	延長(km)	単純単価(億円)
0.32	7.2	2.30

年次	年度	割戻率	GDP デフレーター	事業費(億円)		維持管理費(億円)	
				単純単価	現在価値	単純単価	現在価値
-16年目	H 19	1.3159	97.6	3.93	4.84		
-15年目	H 20	1.2653	96.8	2.06	2.46		
-14年目	H 21	1.2167	95.6	1.78	2.07		
-13年目	H 22	1.1699	93.7	9.63	10.98		
-12年目	H 23	1.1249	92.1	28.65	31.95		
-11年目	H 24	1.0816	91.3	51.12	55.29		
-10年目	H 25	1.0400	91.3	66.48	69.14		
-9年目	H 26	1.0000	91.3	67.69	67.69		
-8年目	H 27	0.9615	91.3	51.01	49.05		
-7年目	H 28	0.9246	91.3	22.22	20.55		
-6年目	H 29	0.8890	91.3	22.22	19.76		
-5年目	H 30	0.8548	91.3	22.22	19.00		
-4年目	H 31	0.8219	91.3	22.22	18.26		
-3年目	H 32	0.7903	91.3	22.22	17.56		
-2年目	H 33	0.7599	91.3	22.22	16.89		
-1年目	H 34	0.7307	91.3	22.00	16.08		
供用開始年次	H 35	0.7026	91.3			2.13	1.50
1年目	H 36	0.6756	91.3			2.13	1.44
2年目	H 37	0.6496	91.3			2.13	1.39
3年目	H 38	0.6246	91.3			2.13	1.33
4年目	H 39	0.6006	91.3			2.13	1.28
5年目	H 40	0.5775	91.3			2.13	1.23
6年目	H 41	0.5553	91.3			2.13	1.18
7年目	H 42	0.5339	91.3			2.13	1.14
8年目	H 43	0.5134	91.3			2.13	1.10
9年目	H 44	0.4936	91.3			2.13	1.05
10年目	H 45	0.4746	91.3			2.13	1.01
11年目	H 46	0.4564	91.3			2.13	0.97
12年目	H 47	0.4388	91.3			2.13	0.94
13年目	H 48	0.4220	91.3			2.13	0.90
14年目	H 49	0.4057	91.3			2.13	0.87
15年目	H 50	0.3901	91.3			2.13	0.83
16年目	H 51	0.3751	91.3			2.13	0.80
17年目	H 52	0.3607	91.3			2.13	0.77
18年目	H 53	0.3468	91.3			2.13	0.74
19年目	H 54	0.3335	91.3			2.13	0.71
20年目	H 55	0.3207	91.3			2.13	0.68
21年目	H 56	0.3083	91.3			2.13	0.66
22年目	H 57	0.2965	91.3			2.13	0.63
23年目	H 58	0.2851	91.3			2.13	0.61
24年目	H 59	0.2741	91.3			2.13	0.58
25年目	H 60	0.2636	91.3			2.13	0.56
26年目	H 61	0.2534	91.3			2.13	0.54
27年目	H 62	0.2437	91.3			2.13	0.52
28年目	H 63	0.2343	91.3			2.13	0.50
29年目	H 64	0.2253	91.3			2.13	0.48
30年目	H 65	0.2166	91.3			2.13	0.46
31年目	H 66	0.2083	91.3			2.13	0.44
32年目	H 67	0.2003	91.3			2.13	0.43
33年目	H 68	0.1926	91.3			2.13	0.41
34年目	H 69	0.1852	91.3			2.13	0.40
35年目	H 70	0.1780	91.3			2.13	0.38
36年目	H 71	0.1712	91.3			2.13	0.37
37年目	H 72	0.1646	91.3			2.13	0.35
38年目	H 73	0.1583	91.3			2.13	0.34
39年目	H 74	0.1522	91.3			2.13	0.32
40年目	H 75	0.1463	91.3			2.13	0.31
41年目	H 76	0.1407	91.3			2.13	0.30
42年目	H 77	0.1353	91.3			2.13	0.29



43年目	H	78	0.1301	91.3			2.13	0.28
44年目	H	79	0.1251	91.3			2.13	0.27
45年目	H	80	0.1203	91.3			2.13	0.26
46年目	H	81	0.1157	91.3			2.13	0.25
47年目	H	82	0.1112	91.3			2.13	0.24
48年目	H	83	0.1069	91.3			2.13	0.23
49年目	H	84	0.1028	91.3	-91.68	-9.42	2.13	0.22
合計					346.01	412.15	106.67	33.49
単純事業費計						437.69	106.67	

注1) 事業費の投資パターンは、費用便益分析の計算条件として設定した標準的な投資パターンであり、必ずしも全体の予算制約等を踏まえたものではない。  
このため、毎年度の予算の状況や、用地・工事の進捗により、実際の事業展開とは異なることがある。  
(投資パターンの変化による費用便益分析結果への影響等については、再評価及び事後評価として評価を実施。)

注2) 評価対象期間最終年において、用地残存価値(割引後の用地費)を控除している。

## 費用の現在価値算定表(残事業)

箇所名:国道26号 和歌山岬道路

維持管理費の単純単価の算出(消費税相当額含む)

					単価(億円)	延長(km)	単純単価(億円)
					0.32	7.2	2.30
年次	年度	割引率	GDP デフレーター	事業費(億円)		維持管理費(億円)	
				単純単価	現在価値	単純単価	現在価値
-8年目	H 27	0.9615	91.3	51.01	49.05		
-7年目	H 28	0.9246	91.3	22.22	20.55		
-6年目	H 29	0.8890	91.3	22.22	19.76		
-5年目	H 30	0.8548	91.3	22.22	19.00		
-4年目	H 31	0.8219	91.3	22.22	18.26		
-3年目	H 32	0.7903	91.3	22.22	17.56		
-2年目	H 33	0.7599	91.3	22.22	16.89		
-1年目	H 34	0.7307	91.3	22.00	16.08		
供用開始年次	H 35	0.7026	91.3			2.13	1.50
1年目	H 36	0.6756	91.3			2.13	1.44
2年目	H 37	0.6496	91.3			2.13	1.39
3年目	H 38	0.6246	91.3			2.13	1.33
4年目	H 39	0.6006	91.3			2.13	1.28
5年目	H 40	0.5775	91.3			2.13	1.23
6年目	H 41	0.5553	91.3			2.13	1.18
7年目	H 42	0.5339	91.3			2.13	1.14
8年目	H 43	0.5134	91.3			2.13	1.10
9年目	H 44	0.4936	91.3			2.13	1.05
10年目	H 45	0.4746	91.3			2.13	1.01
11年目	H 46	0.4564	91.3			2.13	0.97
12年目	H 47	0.4388	91.3			2.13	0.94
13年目	H 48	0.4220	91.3			2.13	0.90
14年目	H 49	0.4057	91.3			2.13	0.87
15年目	H 50	0.3901	91.3			2.13	0.83
16年目	H 51	0.3751	91.3			2.13	0.80
17年目	H 52	0.3607	91.3			2.13	0.77
18年目	H 53	0.3468	91.3			2.13	0.74
19年目	H 54	0.3335	91.3			2.13	0.71
20年目	H 55	0.3207	91.3			2.13	0.68
21年目	H 56	0.3083	91.3			2.13	0.66
22年目	H 57	0.2965	91.3			2.13	0.63
23年目	H 58	0.2851	91.3			2.13	0.61
24年目	H 59	0.2741	91.3			2.13	0.58
25年目	H 60	0.2636	91.3			2.13	0.56
26年目	H 61	0.2534	91.3			2.13	0.54
27年目	H 62	0.2437	91.3			2.13	0.52
28年目	H 63	0.2343	91.3			2.13	0.50
29年目	H 64	0.2253	91.3			2.13	0.48
30年目	H 65	0.2166	91.3			2.13	0.46
31年目	H 66	0.2083	91.3			2.13	0.44
32年目	H 67	0.2003	91.3			2.13	0.43
33年目	H 68	0.1926	91.3			2.13	0.41
34年目	H 69	0.1852	91.3			2.13	0.40
35年目	H 70	0.1780	91.3			2.13	0.38
36年目	H 71	0.1712	91.3			2.13	0.37
37年目	H 72	0.1646	91.3			2.13	0.35
38年目	H 73	0.1583	91.3			2.13	0.34
39年目	H 74	0.1522	91.3			2.13	0.32
40年目	H 75	0.1463	91.3			2.13	0.31
41年目	H 76	0.1407	91.3			2.13	0.30
42年目	H 77	0.1353	91.3			2.13	0.29
43年目	H 78	0.1301	91.3			2.13	0.28
44年目	H 79	0.1251	91.3			2.13	0.27
45年目	H 80	0.1203	91.3			2.13	0.26
46年目	H 81	0.1157	91.3			2.13	0.25
47年目	H 82	0.1112	91.3			2.13	0.24
48年目	H 83	0.1069	91.3			2.13	0.23
49年目	H 84	0.1028	91.3	-1.19	-0.12	2.13	0.22
合計				205.16	177.03	106.67	33.49
単純事業費計					206.35		106.67

注1) 事業費の投資パターンは、費用便益分析の計算条件として設定した標準的な投資パターンであり、必ずしも全体の予算制約等を踏まえたものではない。  
このため、毎年度の予算の状況や、用地・工事の進捗により、実際の事業展開とは異なることがある。  
(投資パターンの変化による費用便益分析結果への影響等については、再評価及び事後評価として評価を実施。)

注2) 評価対象期間最終年において、用地残存価値(割引後の用地費)を控除している。

便益の現在価値算定表（事業全体）

箇所名： 国道26号 和歌山岬道路

年次	年度 (基準年) H 26	総走行台キロの年次別伸び率 (近畿臨海ブロック)				割引率 (A)	GDP デフレータ	走行時間便益 (億円)					走行経費便益 (億円)				事故減少便益 (億円)		合計 (億円)		
		乗用車類	小型貨物	普通貨物	全車			乗用車類	小型貨物	普通貨物	①計	現在価値 ①×(A)	乗用車類	小型貨物	普通貨物	②計	現在価値 ②×(A)	③	現在価値 ③×(A)	便益合計 (①~③)	現在価値 割引率4%
供用開始年次	H 35	0.99816	0.99282	1.01212	0.99953	0.7026	91.3	16.68	2.20	9.19	28.08	18.61	2.30	0.09	0.12	2.51	1.66	2.10	1.39	32.68	21.66
1年目	H 36	0.99815	0.99277	1.01198	0.99953	0.6756	91.3	16.65	2.19	9.30	28.14	17.93	2.29	0.09	0.12	2.51	1.60	2.10	1.34	32.74	20.87
2年目	H 37	0.99815	0.99272	1.01184	0.99953	0.6496	91.3	16.62	2.17	9.41	28.21	17.28	2.29	0.09	0.12	2.50	1.53	2.10	1.28	32.80	20.10
3年目	H 38	0.99815	0.99266	1.01170	0.99953	0.6246	91.3	16.59	2.15	9.53	28.27	16.66	2.28	0.09	0.12	2.50	1.47	2.10	1.23	32.87	19.36
4年目	H 39	0.99814	0.99261	1.01156	0.99953	0.6006	91.3	16.56	2.14	9.64	28.34	16.05	2.28	0.09	0.13	2.49	1.41	2.09	1.19	32.93	18.65
5年目	H 40	0.99814	0.99255	1.01143	0.99953	0.5775	91.3	16.53	2.12	9.75	28.40	15.47	2.27	0.09	0.13	2.49	1.36	2.09	1.14	32.99	17.97
6年目	H 41	0.99814	0.99250	1.01130	0.99953	0.5553	91.3	16.50	2.11	9.86	28.47	14.91	2.27	0.09	0.13	2.49	1.30	2.09	1.10	33.05	17.31
7年目	H 42	0.99061	0.99308	1.00215	0.99307	0.5339	91.3	16.47	2.09	9.97	28.53	14.37	2.27	0.09	0.13	2.48	1.25	2.09	1.05	33.11	16.67
8年目	H 43	0.99052	0.99303	1.00215	0.99302	0.5134	91.3	16.32	2.08	9.99	28.38	13.74	2.24	0.09	0.13	2.46	1.19	2.08	1.01	32.92	15.94
9年目	H 44	0.99043	0.99298	1.00214	0.99298	0.4936	91.3	16.16	2.06	10.01	28.24	13.15	2.22	0.09	0.13	2.44	1.14	2.06	0.96	32.74	15.24
10年目	H 45	0.99034	0.99293	1.00214	0.99293	0.4746	91.3	16.01	2.05	10.04	28.09	12.57	2.20	0.09	0.13	2.42	1.08	2.05	0.92	32.56	14.57
11年目	H 46	0.99025	0.99288	1.00213	0.99288	0.4564	91.3	15.85	2.03	10.06	27.94	12.03	2.18	0.09	0.13	2.40	1.03	2.03	0.88	32.37	13.94
12年目	H 47	0.99015	0.99283	1.00213	0.99282	0.4388	91.3	15.70	2.02	10.08	27.79	11.50	2.16	0.09	0.13	2.38	0.98	2.02	0.84	32.19	13.32
13年目	H 48	0.99005	0.99278	1.00212	0.99277	0.4220	91.3	15.54	2.00	10.10	27.65	11.00	2.14	0.09	0.13	2.35	0.94	2.00	0.80	32.00	12.74
14年目	H 49	0.98995	0.99273	1.00212	0.99272	0.4057	91.3	15.39	1.99	10.12	27.50	10.52	2.12	0.09	0.13	2.33	0.89	1.99	0.76	31.82	12.18
15年目	H 50	0.98985	0.99267	1.00211	0.99267	0.3901	91.3	15.23	1.97	10.14	27.35	10.06	2.10	0.08	0.13	2.31	0.85	1.98	0.73	31.64	11.64
16年目	H 51	0.98975	0.99262	1.00211	0.99261	0.3751	91.3	15.08	1.96	10.16	27.20	9.62	2.07	0.08	0.13	2.29	0.81	1.96	0.69	31.45	11.13
17年目	H 52	0.98964	0.99256	1.00211	0.99256	0.3607	91.3	14.92	1.95	10.19	27.05	9.20	2.05	0.08	0.13	2.27	0.77	1.95	0.66	31.27	10.64
18年目	H 53	0.98953	0.99251	1.00210	0.99250	0.3468	91.3	14.77	1.93	10.21	26.91	8.80	2.03	0.08	0.13	2.25	0.73	1.93	0.63	31.09	10.17
19年目	H 54	0.98942	0.99245	1.00210	0.99245	0.3335	91.3	14.61	1.92	10.23	26.76	8.42	2.01	0.08	0.13	2.23	0.70	1.92	0.60	30.90	9.72
20年目	H 55	0.98931	0.99239	1.00209	0.99239	0.3207	91.3	14.46	1.90	10.25	26.61	8.05	1.99	0.08	0.13	2.20	0.67	1.90	0.58	30.72	9.29
21年目	H 56	0.98919	0.99234	1.00209	0.99233	0.3083	91.3	14.31	1.89	10.27	26.46	7.70	1.97	0.08	0.13	2.18	0.63	1.89	0.55	30.53	8.88
22年目	H 57	0.98908	0.99228	1.00208	0.99227	0.2965	91.3	14.15	1.87	10.29	26.32	7.36	1.95	0.08	0.13	2.16	0.60	1.87	0.52	30.35	8.49
23年目	H 58	0.98895	0.99222	1.00208	0.99221	0.2851	91.3	14.00	1.86	10.31	26.17	7.04	1.93	0.08	0.13	2.14	0.58	1.86	0.50	30.17	8.11
24年目	H 59	0.98883	0.99215	1.00208	0.99215	0.2741	91.3	13.84	1.84	10.34	26.02	6.73	1.90	0.08	0.13	2.12	0.55	1.85	0.48	29.98	7.75
25年目	H 60	0.98871	0.99209	1.00207	0.99209	0.2636	91.3	13.69	1.83	10.36	25.87	6.43	1.88	0.08	0.13	2.10	0.52	1.83	0.46	29.80	7.41
26年目	H 61	0.98858	0.99203	1.00207	0.99202	0.2534	91.3	13.53	1.82	10.38	25.73	6.15	1.86	0.08	0.13	2.07	0.50	1.82	0.43	29.62	7.08
27年目	H 62	0.98844	0.99197	1.00206	0.99196	0.2437	91.3	13.38	1.80	10.40	25.58	5.88	1.84	0.08	0.13	2.05	0.47	1.80	0.41	29.43	6.77
28年目	H 63	0.98831	0.99190	1.00206	0.99190	0.2343	91.3	13.22	1.79	10.42	25.43	5.62	1.82	0.08	0.14	2.03	0.45	1.79	0.40	29.25	6.46
29年目	H 64	0.98817	0.99183	1.00205	0.99183	0.2253	91.3	13.07	1.77	10.44	25.28	5.37	1.80	0.08	0.14	2.01	0.43	1.77	0.38	29.07	6.18
30年目	H 65	0.98803	0.99177	1.00205	0.99176	0.2166	91.3	12.91	1.76	10.46	25.14	5.14	1.78	0.08	0.14	1.99	0.41	1.76	0.36	28.88	5.90
31年目	H 66	0.98788	0.99170	1.00205	0.99169	0.2083	91.3	12.76	1.74	10.49	24.99	4.91	1.76	0.07	0.14	1.97	0.39	1.74	0.34	28.70	5.64
32年目	H 67	0.98774	0.99163	1.00204	0.99162	0.2003	91.3	12.60	1.73	10.51	24.84	4.69	1.73	0.07	0.14	1.94	0.37	1.73	0.33	28.51	5.39
33年目	H 68	0.98758	0.99156	1.00204	0.99155	0.1926	91.3	12.45	1.71	10.53	24.69	4.49	1.71	0.07	0.14	1.92	0.35	1.71	0.31	28.33	5.15
34年目	H 69	0.98743	0.99149	1.00203	0.99148	0.1852	91.3	12.30	1.70	10.55	24.55	4.29	1.69	0.07	0.14	1.90	0.33	1.70	0.30	28.15	4.92
35年目	H 70	0.98727	0.99141	1.00203	0.99141	0.1780	91.3	12.14	1.69	10.57	24.40	4.10	1.67	0.07	0.14	1.88	0.32	1.69	0.28	27.96	4.69
36年目	H 71	0.98710	0.99134	1.00203	0.99133	0.1712	91.3	11.99	1.67	10.59	24.25	3.92	1.65	0.07	0.14	1.86	0.30	1.67	0.27	27.78	4.49
37年目	H 72	0.98693	0.99126	1.00202	0.99126	0.1646	91.3	11.83	1.66	10.61	24.10	3.74	1.63	0.07	0.14	1.84	0.29	1.66	0.26	27.60	4.28
38年目	H 73	0.98676	0.99119	1.00202	0.99118	0.1583	91.3	11.68	1.64	10.64	23.95	3.58	1.61	0.07	0.14	1.81	0.27	1.64	0.25	27.41	4.09
39年目	H 74	0.98658	0.99111	1.00201	0.99110	0.1522	91.3	11.52	1.63	10.66	23.81	3.42	1.59	0.07	0.14	1.79	0.26	1.63	0.23	27.23	3.91
40年目	H 75	0.98640	0.99103	1.00201	0.99102	0.1463	91.3	11.37	1.61	10.68	23.66	3.26	1.56	0.07	0.14	1.77	0.24	1.61	0.22	27.04	3.73
41年目	H 76	0.98621	0.99095	1.00201	0.99094	0.1407	91.3	11.21	1.60	10.70	23.51	3.12	1.54	0.07	0.14	1.75	0.23	1.60	0.21	26.86	3.56
42年目	H 77	0.98602	0.99086	1.00200	0.99086	0.1353	91.3	11.06	1.58	10.72	23.36	2.98	1.52	0.07	0.14	1.73	0.22	1.58	0.20	26.68	3.40
43年目	H 78	0.98582	0.99078	1.00200	0.99077	0.1301	91.3	10.90	1.57	10.74	23.22	2.85	1.50	0.07	0.14	1.71	0.21	1.57	0.19	26.49	3.25
44年目	H 79	0.98562	0.99069	1.00199	0.99069	0.1251	91.3	10.75	1.56	10.76	23.07	2.72	1.48	0.07	0.14	1.68	0.20	1.56	0.18	26.31	3.10
45年目	H 80	0.98541	0.99061	1.00199	0.99060	0.1203	91.3	10.59	1.54	10.79	22.92	2.60	1.46	0.07	0.14	1.66	0.19	1.54	0.17	26.13	2.96
46年目	H 81	0.98519	0.99052	1.00199	0.99051	0.1157	91.3	10.44	1.53	10.81	22.77	2.49	1.44	0.07	0.14	1.64	0.18	1.53	0.17	25.94	2.83
47年目	H 82	0.98497	0.99043	1.00198	0.99042	0.1112	91.3	10.29	1.51	10.83	22.63	2.37	1.41	0.06	0.14	1.62	0.17	1.51	0.16	25.76	2.70
48年目	H 83	0.98474	0																		

便益の現在価値算定表（残事業）

箇所名： 国道26号 和歌山岬道路

年次	年度 (基準年) H 26	総走行台キロの年次別伸び率 (近畿臨海ブロック)				割引率 (A)	GDP デフレータ	走行時間便益 (億円)					走行経費便益 (億円)				事故減少便益 (億円)		合計 (億円)		
		乗用車類	小型貨物	普通貨物	全車			乗用車類	小型貨物	普通貨物	①計	現在価値 ①×(A)	乗用車類	小型貨物	普通貨物	②計	現在価値 ②×(A)	③	現在価値 ③×(A)	便益合計 (①～③)	現在価値 割引率4%
供用開始年次	H 35	0.99816	0.99282	1.01212	0.99953	0.7026	91.3	16.68	2.20	9.19	28.08	18.61	2.30	0.09	0.12	2.51	1.66	2.10	1.39	32.68	21.66
1年目	H 36	0.99815	0.99277	1.01198	0.99953	0.6756	91.3	16.65	2.19	9.30	28.14	17.93	2.29	0.09	0.12	2.51	1.60	2.10	1.34	32.74	20.87
2年目	H 37	0.99815	0.99272	1.01184	0.99953	0.6496	91.3	16.62	2.17	9.41	28.21	17.28	2.29	0.09	0.12	2.50	1.53	2.10	1.28	32.80	20.10
3年目	H 38	0.99815	0.99266	1.01170	0.99953	0.6246	91.3	16.59	2.15	9.53	28.27	16.66	2.28	0.09	0.12	2.50	1.47	2.10	1.23	32.87	19.36
4年目	H 39	0.99814	0.99261	1.01156	0.99953	0.6006	91.3	16.56	2.14	9.64	28.34	16.05	2.28	0.09	0.13	2.49	1.41	2.09	1.19	32.93	18.65
5年目	H 40	0.99814	0.99255	1.01143	0.99953	0.5775	91.3	16.53	2.12	9.75	28.40	15.47	2.27	0.09	0.13	2.49	1.36	2.09	1.14	32.99	17.97
6年目	H 41	0.99814	0.99250	1.01130	0.99953	0.5553	91.3	16.50	2.11	9.86	28.47	14.91	2.27	0.09	0.13	2.49	1.30	2.09	1.10	33.05	17.31
7年目	H 42	0.99061	0.99308	1.00215	0.99307	0.5339	91.3	16.47	2.09	9.97	28.53	14.37	2.27	0.09	0.13	2.48	1.25	2.09	1.05	33.11	16.67
8年目	H 43	0.99052	0.99303	1.00215	0.99302	0.5134	91.3	16.32	2.08	9.99	28.38	13.74	2.24	0.09	0.13	2.46	1.19	2.08	1.01	32.92	15.94
9年目	H 44	0.99043	0.99298	1.00214	0.99298	0.4936	91.3	16.16	2.06	10.01	28.24	13.15	2.22	0.09	0.13	2.44	1.14	2.06	0.96	32.74	15.24
10年目	H 45	0.99034	0.99293	1.00214	0.99293	0.4746	91.3	16.01	2.05	10.04	28.09	12.57	2.20	0.09	0.13	2.42	1.08	2.05	0.92	32.56	14.57
11年目	H 46	0.99025	0.99288	1.00213	0.99288	0.4564	91.3	15.85	2.03	10.06	27.94	12.03	2.18	0.09	0.13	2.40	1.03	2.03	0.88	32.37	13.94
12年目	H 47	0.99015	0.99283	1.00213	0.99282	0.4388	91.3	15.70	2.02	10.08	27.79	11.50	2.16	0.09	0.13	2.38	0.98	2.02	0.84	32.19	13.32
13年目	H 48	0.99005	0.99278	1.00212	0.99277	0.4220	91.3	15.54	2.00	10.10	27.65	11.00	2.14	0.09	0.13	2.35	0.94	2.00	0.80	32.00	12.74
14年目	H 49	0.98995	0.99273	1.00212	0.99272	0.4057	91.3	15.39	1.99	10.12	27.50	10.52	2.12	0.09	0.13	2.33	0.89	1.99	0.76	31.82	12.18
15年目	H 50	0.98985	0.99267	1.00211	0.99267	0.3901	91.3	15.23	1.97	10.14	27.35	10.06	2.10	0.08	0.13	2.31	0.85	1.98	0.73	31.64	11.64
16年目	H 51	0.98975	0.99262	1.00211	0.99261	0.3751	91.3	15.08	1.96	10.16	27.20	9.62	2.07	0.08	0.13	2.29	0.81	1.96	0.69	31.45	11.13
17年目	H 52	0.98964	0.99256	1.00211	0.99256	0.3607	91.3	14.92	1.95	10.19	27.05	9.20	2.05	0.08	0.13	2.27	0.77	1.95	0.66	31.27	10.64
18年目	H 53	0.98953	0.99251	1.00210	0.99250	0.3468	91.3	14.77	1.93	10.21	26.91	8.80	2.03	0.08	0.13	2.25	0.73	1.93	0.63	31.09	10.17
19年目	H 54	0.98942	0.99245	1.00210	0.99245	0.3335	91.3	14.61	1.92	10.23	26.76	8.42	2.01	0.08	0.13	2.23	0.70	1.92	0.60	30.90	9.72
20年目	H 55	0.98931	0.99239	1.00209	0.99239	0.3207	91.3	14.46	1.90	10.25	26.61	8.05	1.99	0.08	0.13	2.20	0.67	1.90	0.58	30.72	9.29
21年目	H 56	0.98919	0.99234	1.00209	0.99233	0.3083	91.3	14.31	1.89	10.27	26.46	7.70	1.97	0.08	0.13	2.18	0.63	1.89	0.55	30.53	8.88
22年目	H 57	0.98908	0.99228	1.00208	0.99227	0.2965	91.3	14.15	1.87	10.29	26.32	7.36	1.95	0.08	0.13	2.16	0.60	1.87	0.52	30.35	8.49
23年目	H 58	0.98895	0.99222	1.00208	0.99221	0.2851	91.3	14.00	1.86	10.31	26.17	7.04	1.93	0.08	0.13	2.14	0.58	1.86	0.50	30.17	8.11
24年目	H 59	0.98883	0.99215	1.00208	0.99215	0.2741	91.3	13.84	1.84	10.34	26.02	6.73	1.90	0.08	0.13	2.12	0.55	1.85	0.48	29.98	7.75
25年目	H 60	0.98871	0.99209	1.00207	0.99209	0.2636	91.3	13.69	1.83	10.36	25.87	6.43	1.88	0.08	0.13	2.10	0.52	1.83	0.46	29.80	7.41
26年目	H 61	0.98858	0.99203	1.00207	0.99202	0.2534	91.3	13.53	1.82	10.38	25.73	6.15	1.86	0.08	0.13	2.07	0.50	1.82	0.43	29.62	7.08
27年目	H 62	0.98844	0.99197	1.00206	0.99196	0.2437	91.3	13.38	1.80	10.40	25.58	5.88	1.84	0.08	0.13	2.05	0.47	1.80	0.41	29.43	6.77
28年目	H 63	0.98831	0.99190	1.00206	0.99190	0.2343	91.3	13.22	1.79	10.42	25.43	5.62	1.82	0.08	0.14	2.03	0.45	1.79	0.40	29.25	6.46
29年目	H 64	0.98817	0.99183	1.00205	0.99183	0.2253	91.3	13.07	1.77	10.44	25.28	5.37	1.80	0.08	0.14	2.01	0.43	1.77	0.38	29.07	6.18
30年目	H 65	0.98803	0.99177	1.00205	0.99176	0.2166	91.3	12.91	1.76	10.46	25.14	5.14	1.78	0.08	0.14	1.99	0.41	1.76	0.36	28.88	5.90
31年目	H 66	0.98788	0.99170	1.00205	0.99169	0.2083	91.3	12.76	1.74	10.49	24.99	4.91	1.76	0.07	0.14	1.97	0.39	1.74	0.34	28.70	5.64
32年目	H 67	0.98774	0.99163	1.00204	0.99162	0.2003	91.3	12.60	1.73	10.51	24.84	4.69	1.73	0.07	0.14	1.94	0.37	1.73	0.33	28.51	5.39
33年目	H 68	0.98758	0.99156	1.00204	0.99155	0.1926	91.3	12.45	1.71	10.53	24.69	4.49	1.71	0.07	0.14	1.92	0.35	1.71	0.31	28.33	5.15
34年目	H 69	0.98743	0.99149	1.00203	0.99148	0.1852	91.3	12.30	1.70	10.55	24.55	4.29	1.69	0.07	0.14	1.90	0.33	1.70	0.30	28.15	4.92
35年目	H 70	0.98727	0.99141	1.00203	0.99141	0.1780	91.3	12.14	1.69	10.57	24.40	4.10	1.67	0.07	0.14	1.88	0.32	1.69	0.28	27.96	4.69
36年目	H 71	0.98710	0.99134	1.00203	0.99133	0.1712	91.3	11.99	1.67	10.59	24.25	3.92	1.65	0.07	0.14	1.86	0.30	1.67	0.27	27.78	4.49
37年目	H 72	0.98693	0.99126	1.00202	0.99126	0.1646	91.3	11.83	1.66	10.61	24.10	3.74	1.63	0.07	0.14	1.84	0.29	1.66	0.26	27.60	4.28
38年目	H 73	0.98676	0.99119	1.00202	0.99118	0.1583	91.3	11.68	1.64	10.64	23.95	3.58	1.61	0.07	0.14	1.81	0.27	1.64	0.25	27.41	4.09
39年目	H 74	0.98658	0.99111	1.00201	0.99110	0.1522	91.3	11.52	1.63	10.66	23.81	3.42	1.59	0.07	0.14	1.79	0.26	1.63	0.23	27.23	3.91
40年目	H 75	0.98640	0.99103	1.00201	0.99102	0.1463	91.3	11.37	1.61	10.68	23.66	3.26	1.56	0.07	0.14	1.77	0.24	1.61	0.22	27.04	3.73
41年目	H 76	0.98621	0.99095	1.00201	0.99094	0.1407	91.3	11.21	1.60	10.70	23.51	3.12	1.54	0.07	0.14	1.75	0.23	1.60	0.21	26.86	3.56
42年目	H 77	0.98602	0.99086	1.00200	0.99086	0.1353	91.3	11.06	1.58	10.72	23.36	2.98	1.52	0.07	0.14	1.73	0.22	1.58	0.20	26.68	3.40
43年目	H 78	0.98582	0.99078	1.00200	0.99077	0.1301	91.3	10.90	1.57	10.74	23.22	2.85	1.50	0.07	0.14	1.71	0.21	1.57	0.19	26.49	3.25
44年目	H 79	0.98562	0.99069	1.00199	0.99069	0.1251	91.3	10.75	1.56	10.76	23.07	2.72	1.48	0.07	0.14	1.68	0.20	1.56	0.18	26.31	3.10
45年目	H 80	0.98541	0.99061	1.00199	0.99060	0.1203	91.3	10.59	1.54	10.79	22.92	2.60	1.46	0.07	0.14	1.66	0.19	1.54	0.17	26.13	2.96
46年目	H 81	0.98519	0.99052	1.00199	0.99051	0.1157	91.3	10.44	1.53	10.81	22.77	2.49	1.44	0.07	0.14	1.64	0.18	1.53	0.17	25.94	2.83
47年目	H 82	0.98497	0.99043	1.00198	0.99042	0.1112	91.3	10.29	1.51	10.83	22.63	2.37	1.41	0.06	0.14	1.62	0.17	1.51	0.16	25.76	2.70
48年目	H 83	0.98474	0.99034	1.00198	0.99033	0.1069	91.3	10.13	1.50	10.85	22.48	2.27	1.39	0.06	0.14	1.60	0.16	1.50	0.15	25.58	2.58
49年目	H 84	0.98450	0.99024	1.00197	0.99023	0.1028	91.3	9.98	1.48	10.87	22.33	2.17	1.37	0.06	0.14	1.58	0.15	1.48	0.14	25.39	2.46
合計								684.74	91.90	514.80	1,291.43	397.31	94.19	3.93	6.68	104.80	33.33	91.53	28.63	1,487.77	459.27



(事業全体)

路線名	箇所名	車線数	延長
国道26号	和歌山岬道路	4	7.2km

### ■事業費内訳

区分	費目	工種	単位	数量	金額 (百万円)	備考
①工事費			式	1	31,395	
	改良費		式	1	17,415	
		土工	m <sup>3</sup>	1,889,310	5,446	切土(791,270m <sup>3</sup> )、盛土(1,098,040m <sup>3</sup> )
		軟弱地盤改良工	m <sup>3</sup>	642,110	5,956	
		法面工	m <sup>2</sup>	136,263	5,027	切土法面、盛土法面
		擁壁工	式	1	651	コンクリート擁壁、重力式擁壁、逆T式擁壁、テールアルメ、ブロック積工
		函渠工	m	438	335	
	橋梁費		m	838	3,259	
		100m以上	m	621	1,994	
		100m未満	m	217	1,265	
	トンネル費		m	893	6,117	
		NATM	m	893	6,117	3本、舗装費(18,620m <sup>2</sup> )除く
		シールド	m			
	IC・JCT費		箇所			
		IC	箇所			
		JCT	箇所			
	舗装費		m <sup>2</sup>	129,120	1,032	
		車道舗装	m <sup>2</sup>	129,120	1,032	
		歩道舗装	m <sup>2</sup>			
	付帯施設費		式	1	3,572	
交通管理施設工		式	1	3,360	連絡等施設、交通管理施設等	
遮音壁		m	1,935	212	土工部、高架部	
②用地及補償費		式	1	10,318		
	用地費		m <sup>2</sup>	299,900	9,168	
		宅地	m <sup>2</sup>	13,985	1,208	
		田畑	m <sup>2</sup>	139,093	7,373	
		山林・原野	m <sup>2</sup>	146,822	587	
補償費	式	1	1,150			
③間接経費		式	1	4,587	地質調査、測量、設計にかかる費用等	
事業費合計					46,300	

#### 【単価等について】

- 工事費算出にあたっては、土木工事標準歩掛及び近接事業箇所の実績単価を使用
- 用地補償費算出にあたっては、近接事業箇所の直近実績単価を使用

(残事業)

路線名	箇所名	車線数	延長
国道26号	和歌山岬道路	4	7.2km

■残事業費内訳

区分	費目	工種	単位	数量	金額 (百万円)	備考
①工事費			式	1	20,100	
	改良費		式	1	9,523	
		土工	m3	1,684,892	4,753	
		軟弱地盤改良工	m3			
		法面工	m <sup>2</sup>	112,244	4,019	切土法面、盛土法面
		擁壁工	式	1	511	コンクリート擁壁、重力式擁壁、逆T式擁壁、テールアルメ、ブロック積工
		函渠工	m	334	240	
	橋梁費		m	838	2,684	
		100m以上	m	621	1,705	
		100m未満	m	217	979	
	トンネル費		m	893	3,963	
		NATM	m	893	3,963	3本、舗装費(18,620m <sup>2</sup> )除く
		シールド	m			
	IC・JCT費		箇所			
		IC	箇所			
		JCT	箇所			
	舗装費		m <sup>2</sup>	129,120	1,032	
		車道舗装	m <sup>2</sup>	129,120	1,032	
		歩道舗装	m <sup>2</sup>			
付帯施設費		式	1	2,898		
	交通管理施設工	式	1	2,686	連絡等施設、交通管理施設等	
	遮音壁	m	1,935	212	土工部、高架部	
②用地及補償費		式	1	134		
	用地費		m <sup>2</sup>		119	
		宅地	m <sup>2</sup>			
		田畑	m <sup>2</sup>			
		山林・原野	m <sup>2</sup>			
補償費	式		15			
③間接経費		式	1	2,042	地質調査、測量、設計にかかる費用等	
事業費合計					22,276	

【単価等について】

○工事費算出にあたっては、土木工事標準歩掛及び近接事業箇所の実績単価を使用

○用地補償費算出にあたっては、近接事業箇所の直近実績単価を使用

(事業全体、残事業)

路線名	箇所名	車線数	延長
一般国道26号	和歌山岬道路	4	7.2km

■維持管理費内訳

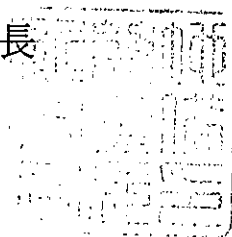
区分	単位	数量	金額 (百万円)	備考
維持費	km	7.2	2,050	巡回、清掃、除草等
修繕費	式	1	9,150	橋梁0.8km、トンネル0.9km
その他	式	1	0	
維持管理費合計			11,200	



国近整企画64号  
平成26年10月21日

大阪府知事 殿

近畿地方整備局長



近畿地方整備局事業評価監視委員会に諮る  
対応方針(原案)の作成に係る意見照会について

貴職におかれましては、日頃から国土交通行政に対するご理解、ご協力を賜り、厚く御礼申し上げます。

さて、当地方整備局管内における直轄事業については、国土交通省所管公共事業の再評価実施要領(以下「実施要領」という。)に基づき、事業採択後一定期間が経過している事業等について、その効率性、実施過程の透明性を図るべく、近畿地方整備局事業評価監視委員会(以下「委員会」という。)において、再評価に係る対応方針(原案)について審議しております。

このたび、平成26年11月10日(月)に委員会を開催することとなりましたので、実施要領に基づき、委員会に諮る対応方針(原案)の作成にあたり、平成26年11月4日(火)までに、別紙について貴職のご意見を承りたく依頼いたします。

※ご意見の送付・問い合わせ先

近畿地方整備局 企画部 企画課 事業評価係

電話 06-6942-1141

FAX 06-6942-7463

(再評価)

## 【道路事業】

事業名	「対応方針(原案)」案※	備考
一般国道26号和歌山岬道路	事業継続	
一般国道480号鍋谷峠道路	事業継続	

※貴府の意見を踏まえ、近畿地方整備局事業監視委員会へ諮る対応方針(原案)を作成するためのものです。

## 【河川事業】

事業名	「対応方針(原案)」案※	備考
大和川総合水系環境整備事業	事業継続	

※貴府の意見を踏まえ、近畿地方整備局事業監視委員会へ諮る対応方針(原案)を作成するためのものです。

## 【砂防事業】

事業名	「対応方針(原案)」案※	備考
亀の瀬地区地すべり対策事業	事業継続	

※貴府の意見を踏まえ、近畿地方整備局事業監視委員会へ諮る対応方針(原案)を作成するためのものです。

## 【公園事業】

事業名	「対応方針(原案)」案※	備考
淀川河川公園	事業継続	

※貴府の意見を踏まえ、近畿地方整備局事業監視委員会へ諮る対応方針(原案)を作成するためのものです。



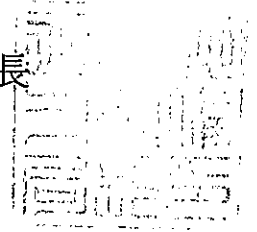


国近整企画64号

平成26年10月21日

和歌山県知事 殿

近畿地方整備局長



近畿地方整備局事業評価監視委員会に諮る  
対応方針(原案)の作成に係る意見照会について

貴職におかれましては、日頃から国土交通行政に対するご理解、ご協力を賜り、厚く御礼申し上げます。

さて、当地方整備局管内における直轄事業については、国土交通省所管公共事業の再評価実施要領(以下「実施要領」という。)に基づき、事業採択後一定期間が経過している事業等について、その効率性、実施過程の透明性を図るべく、近畿地方整備局事業評価監視委員会(以下「委員会」という。)において、再評価に係る対応方針(原案)について審議しております。

このたび、平成26年11月10日(月)に委員会を開催することとなりましたので、実施要領に基づき、委員会に諮る対応方針(原案)の作成にあたり、平成26年11月4日(火)までに、別紙について貴職のご意見を承りたく依頼いたします。

※ご意見の送付・問い合わせ先

近畿地方整備局 企画部 企画課 事業評価係

電話 06-6942-1141

FAX 06-6942-7463

(再評価)

## 【道路事業】

事業名	「対応方針(原案)」案※	備考
一般国道26号和歌山岬道路	事業継続	
一般国道42号冷水拡幅	事業継続	
一般国道42号有田海南道路	事業継続	
一般国道42号田辺西バイパス	事業継続	
近畿自動車道紀勢線(田辺～すさみ)	事業継続	
一般国道480号鍋谷峠道路	事業継続	

※貴県の意見を踏まえ、近畿地方整備局事業監視委員会へ諮る対応方針(原案)を作成するためのものです。

## 【河川事業】

事業名	「対応方針(原案)」案※	備考
紀の川総合水系環境整備事業	事業継続	

※貴府の意見を踏まえ、近畿地方整備局事業監視委員会へ諮る対応方針(原案)を作成するためのものです。

交 整 1 7 2 3 号  
平成26年10月27日

近畿地方整備局長 様

大 阪 府 知 事



近畿地方整備局事業評価監視委員会に諮る  
対応方針（原案）の作成に係る意見照会について（回答）

貴職におかれましては、日頃から大阪府行政に対するご理解、ご協力を賜り、厚くお礼申し上げます。

さて、平成26年10月21日付け国近整企画第64号により照会のありました標記内容について、下記のとおり回答いたします。

記

【一般国道26号和歌山岬道路】

1. 平成27年度供用を目標に事業が進められているところであるが、一日も早い全線供用に向け、事業推進を図られたい。
2. 事業の実施にあたり、より一層のコスト縮減はもとより、引き続き、透明性の確保に努め、工事工程や事業費について、適宜説明を行われたい。
3. 今後とも事業を円滑に進めるため、沿道環境への配慮や交通安全対策、地域振興などに関する地域住民の意見を十分に踏まえながら、事業の推進に努められたい。

【一般国道480号鍋谷峠道路】

1. 平成27年度供用を目標に事業が進められているところであるが、一日も早い供用開始に向け、事業推進を図られたい。
2. 事業の実施にあたっては、道路構造や施工方法について十分に検討の上、より一層のコスト縮減に努められたい。
3. 今後とも事業を円滑に進めるため、沿道環境への配慮や地域振興などに関する地域住民の意見を十分に踏まえながら、事業の推進に努められたい。

近畿地方整備局長 様

和歌山県知事 仁 坂 吉 伸



近畿地方整備局事業評価監視委員会に諮る対応方針（原案）の  
作成に係る意見照会について（回答）

平成26年9月13日付け国近整企画第54号で意見照会のあった標記につ  
いて、下記のとおり回答します。

記

1 対応方針（原案）に対する県知事意見について

(1) 一般国道26号和歌山岬道路

国道26号和歌山岬道路は、和歌山県と大阪府との連携を強化し、広域的なネットワークを形成する、重要な府県間道路であります。

また、国道26号の交通混雑の緩和、交通安全の確保、異常気象時通行規制の解消、救急医療活動の支援等の整備効果を高めるためにも、早期の全線供用が必要であり、対応方針（原案）のとおり、事業継続が妥当と考えます。

なお、事業実施にあたっては、より一層のコスト縮減等を図り、平成27年国体開催までに供用させるようお願いいたします。

(2) 一般国道480号鍋谷峠道路

国道480号鍋谷峠道路は、和歌山県と大阪府との連携を強化するなど、関西都市圏を拡大し、広域的なネットワークを形成する重要な府県間道路であります。

このため、地域間交通の利便性向上や地域経済の発展はもとより、災害時の交通機能確保や救急医療体制の強化や、住民の安全・安心な生活を確保するためにも、早期の全線供用が必要であり、対応方針（原案）のとおり、事業継続が妥当と考えます。

なお、事業実施にあたっては、より一層のコスト縮減等を図り、平成27年国体開催までに供用させるようお願いいたします。

(3) 一般国道 42 号有田海南道路

国道 42 号有田海南道路は、国道 42 号の渋滞解消や交通事故の減少を図るとともに、有田市及び海南市の生活圏の連携強化により地域の活性化に資する道路であります。

また、国道 42 号の現道は南海トラフの巨大地震などによる津波で浸水することが想定されており、大規模地震への備えとして整備が必要であり、対応方針(原案)のとおり、事業継続が妥当と考えます。

なお、事業着手から 6 年が経過しており、早期に用地買収を進め、工事に着手できるようお願いします。

(4) 一般国道 42 号冷水拡幅

国道 42 号冷水拡幅は、国道 42 号有田海南道路と合わせ、国道 42 号の渋滞解消や交通事故の減少を図るとともに、有田市及び海南市の生活圏の連携強化により地域の活性化に資する道路であることから整備が必要であり、対応方針(原案)のとおり、事業継続が妥当と考えます。

なお、事業着手から 7 年が経過しており、早期に用地買収を進め、工事に着手できるようお願いします。

(5) 近畿自動車道紀勢線(田辺～すさみ)

異常気象による災害や南海トラフの巨大地震などの大規模地震に備え、紀伊半島の海岸線を通る唯一の幹線道路である国道 42 号の代替え道路となる近畿自動車道紀勢線のミッシングリンク解消が急務であります。

当事業は平成 26 年 4 月に国土交通省から平成 27 年国体開催までの供用が示されており、全線で工事が推進され、一部では完了しているため、対応方針(原案)のとおり事業継続が妥当と考えます。

なお、事業実施にあたっては、より一層のコスト縮減等を図り、平成 27 年国体開催までに供用させるようお願いします。

(6) 一般国道 42 号田辺西バイパス

国道 42 号田辺西バイパスは、近畿自動車道紀勢線南紀田辺 IC へのアクセス道路としての機能を担うとともに、国道 42 号の渋滞緩和を目的とする道路であります。

また、国道 42 号の現道は南海トラフの巨大地震などによる津波で浸水することが想定されており、大規模地震への備えとしても重要な道路であることから、早期の全線供用が必要であり、対応方針(原案)のとおり、事業継続が妥当と考えます。

(7) 紀の川総合水系環境整備事業

紀の川総合水系環境整備事業は、国(浄化事業)、県(底泥浚渫)、市(下水道整備)が一体となり進めている内川(和歌山市)の水質改善事業の一環であり、県都和歌山市のまちづくりにおける重要な事業である。現在でも、大門川では BOD が環境基準値を上回っている状況であり、早急な水質改善のためにも対応方針(原案)のとおり事業継続し、早期完成を図られたい。